

長野市都市計画 マスタープラン

資料編

平成29年4月
長野市

長野市 都市計画マスタープラン 資料編

目 次

1	検討経緯	1
2	長野市都市計画マスタープラン改定専門部会委員名簿	3
3	長野市都市計画マスタープラン改定に関する地域懇談会	4
4	長野市都市計画マスタープラン改定 市民アンケート調査の結果	5
5	部門別実現化方策の実施に向けたスケジュール	44
6	「長野市都市計画マスタープラン（素案）」に対する意見募集（パブリックコメント）等の結果	49

1 検討経緯

○都市計画審議会

回数	開催期日	内容
第58回	平成27年 5月 29日	○都市計画マスタープラン改定について諮問
第59回	平成27年 7月 28日	○都市計画マスタープラン改定専門部会の報告
第60回	平成27年 12月 16日	○都市計画マスタープラン改定専門部会の報告
第61回	平成28年 3月 24日	○長野都市計画マスタープラン改定中間報告について（専門部会での審議内容を報告報告）
第62回	平成28年 6月 1日	○長野都市計画マスタープラン・立地適正化計画について（専門部会での審議内容を報告）
第63回	平成28年 8月 4日	○長野都市計画マスタープラン・立地適正化計画について（専門部会での審議内容を報告） ○地域別懇談会における意見について（報告）
第64回	平成28年 12月 21日	○都市計画マスタープラン改定原案の審議 （パブリックコメントの実施について）
第65回	平成29年 2月 17日	○都市計画マスタープラン改定答申案の審議 ○改定案の答申

○都市計画マスタープラン改定専門部会

回数	開催期日	内容
第1回	平成27年 7月 1日	○長野市都市計画マスタープランの策定体制・スケジュールについて ○長野市都市計画マスタープラン改定の主な視点
第2回	平成27年 9月 10日	○改定支援業務に対する提案について ○都市計画マスタープランに関連のある各種計画
第3回	平成27年 10月 29日	○現況と課題の整理 ○「都市づくりの理念・目標全体構想」の改定の方向性 ○アンケートの実施について（報告）
第4回	平成27年 11月 25日	○現況と課題の整理補足 ○主な施策の達成状況の把握と整理 ○都市づくり構想（都市づくりの理念と目標、都市構造・土地利用）
第5回	平成28年 1月 22日	○第4回専門部会の指摘事項について ○都市構造、土地利用方針の改定内容 ○その他の全体都市づくり構想の改定検討
第6回	平成28年 3月 1日	○長野市都市計画マスタープラン（中間報告）（案） ○市民アンケートについて

第7回	平成28年 5月 17日	○立地適正化計画制度の概要について ○市民アンケートの結果報告
第8回	平成28年 7月 15日	○地域別懇談会における意見について（報告） ○立地適正化計画の策定について （基本方針・各誘導区域及び誘導都市施設の検討）
第9回	平成28年 9月 27日	○立地適正化計画の策定について （各誘導区域、誘導都市施設及び誘導施策の検討） ○都市計画マスタープラン地域別構想について （地域別懇談会における意見、構想案の検討）
第10回	平成28年 10月 31日	○立地適正化計画（素案） ○都市計画マスタープラン ・第4編（都市計画マスタープランの実現に向けて） 素案 ・第3編（地域別まちづくり構想）素案の修正
第11回	平成28年 11月 29日	○都市計画マスタープラン（素案） ○立地適正化計画（素案）
第12回	平成29年 2月 10日	○都市計画マスタープラン（案） ○立地適正化計画（案）

2 長野市都市計画マスタープラン改定専門部会委員名簿

(12名) ※五十音順

区 分	職 名	役 職	氏 名
(都市計画審議会委員)	長野県建築士会長野支部 女性委員会 副会長		相野 律子
	公募委員		池内 功
	公募委員		太田 亜矢子
(都市計画審議会委員)	ハウジングスタイリスト		金澤 玲子
	長野市農業委員会 会長		小山 英壽
	長野工業高等専門学校 環境都市学科 准教授		酒井 美月
	(株)さくら都市総合研究所 代表取締役		清水 秀幸
	信州大学工学部 建築学科教授	部会長	高木 直樹
	長野県短期大学 准教授		築山 秀夫
	長野商店街連合会会長		宮島 章郎
	長野工業高等専門学校 環境都市学科 教授	副部会長	柳沢 吉保
	公募委員		山浦 直人

3 長野市都市計画マスタープラン改定に関する地域懇談会

◆実施概要

1. 実施目的：

- ・都市計画マスタープラン改定にあたり、まちづくりに関する各地域の課題等の把握
- ・中間報告として平成 28 年 4 月に公表した平成 27 年度までの改定作業経過の概要説明

2. 実施方法：住民自治協議会単位で、地域の代表者を対象に、市内全域 32 地区で開催

3. 実施期間：平成 28 年 6 月 7 日～7 月 22 日（全 32 回）

	日付	地区名	資料 配布数
1	6 月 7 日	朝陽地区	25
2	6 月 7 日	更北地区	10
3	6 月 9 日	川中島地区	30
4	6 月 10 日	芹田地区	30
5	6 月 10 日	松代地区	30
6	6 月 11 日	浅川地区	40
7	6 月 14 日	大豆島地区	16
8	6 月 15 日	若穂地区	25
9	6 月 15 日	第一地区	21
10	6 月 15 日	小田切地区	16
11	6 月 15 日	鬼無里地区	30
12	6 月 16 日	豊野地区	16
13	6 月 17 日	吉田地区	21
14	6 月 20 日	若槻地区	37
15	6 月 21 日	第四地区	10
16	6 月 21 日	芋井地区	15

	日付	地区名	資料 配布数
17	6 月 23 日	信更地区	35
18	6 月 23 日	戸隠地区	40
19	6 月 24 日	三輪地区	35
20	6 月 24 日	第五地区	7
21	6 月 24 日	七二会地区	20
22	7 月 28 日	大岡地区	25
23	7 月 6 日	古里地区	40
24	7 月 6 日	篠ノ井地区	30
25	7 月 11 日	安茂里支所	15
26	7 月 13 日	古牧地区	10
27	7 月 13 日	中条地区	40
28	7 月 14 日	長沼地区	15
29	7 月 15 日	第二地区	19
30	7 月 20 日	柳原支所	20
31	7 月 20 日	第三地区	15
32	7 月 22 日	信州新町地区	25
合計			763

4 長野市都市計画マスタープラン改定 市民アンケート調査の結果

◆調査実施概要

1. 実施目的：「長野市都市計画マスタープラン改定」にあたり、都市づくりに関する市民の意向を把握し、マスタープラン改定の参考とすることを目的とする。
2. 実施方法：郵送配布、郵送回収又はインターネット回答（長野市ホームページに回答記入サイトを開設）
3. 実施期間：平成 28 年 2 月 6 日～2 月 15 日（ネット回答は 2 月 17 日）
4. 実施対象者数：長野市民の 20 歳以上の男女 3,000 人を無作為抽出
5. 回収状況：1,299 通（回収率 43.3%）

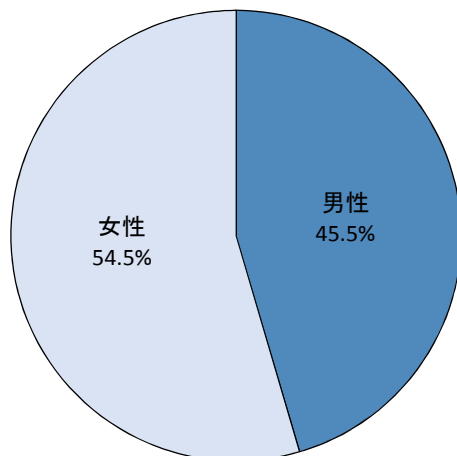
◆アンケート結果

I. はじめに、あなたご自身のことについてお答えください。

問 1. あなたの性別は。(1 つ)

性別は、「男性」が 45.5%、「女性」が 54.5%となっている。

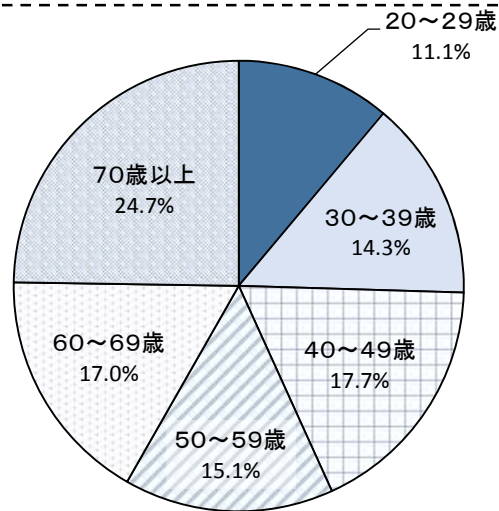
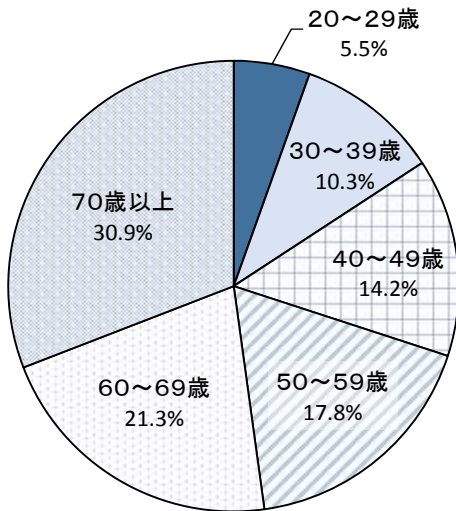
	合計	有効回答数	1	2	無回答
			男性	女性	
合計	1299	1298	590	708	1
	-	100.0%	45.5%	54.5%	-



問2. あなたの年代は。(1つ)

高齢者の回答が多い(60歳代:22.4%、70歳以上:31.0%)。

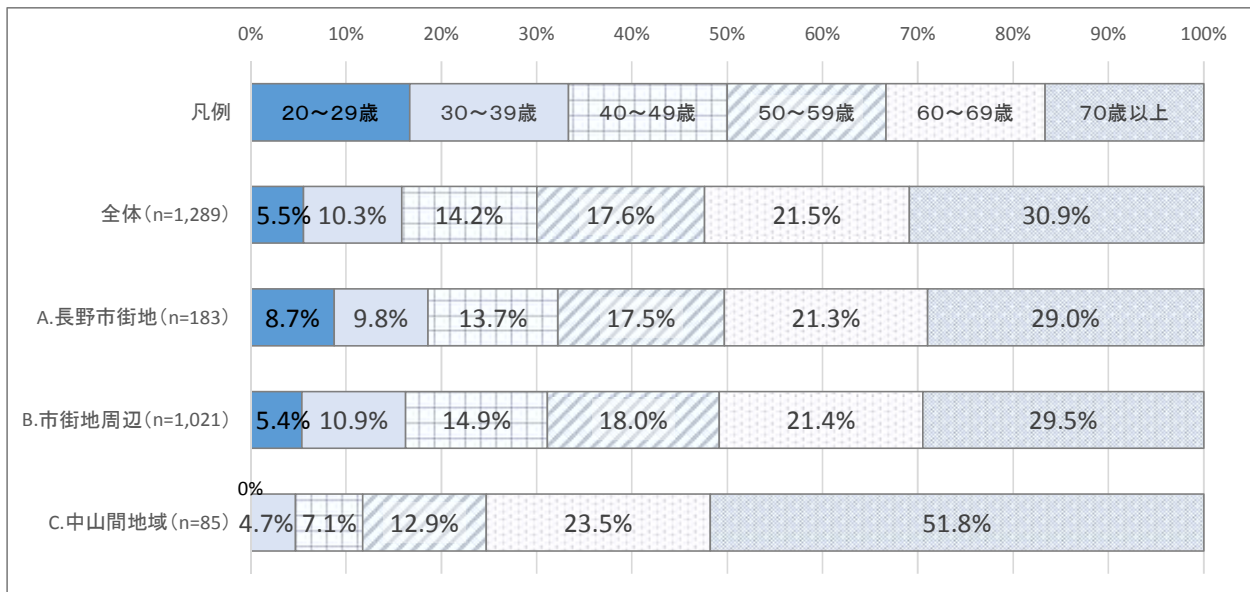
	合計	有効回答数	1	2	3	4	5	6	無回答
			20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	
合計	1299	1299	71	134	185	231	277	401	0
	-	100.0%	5.5%	10.3%	14.2%	17.8%	21.3%	30.9%	-



【参考】長野市住民基本台帳の登録人口
(平成28年2月時点)

【参考】居住地域別結果

中山間地域の回答者では、60歳以上が75.3%となる。



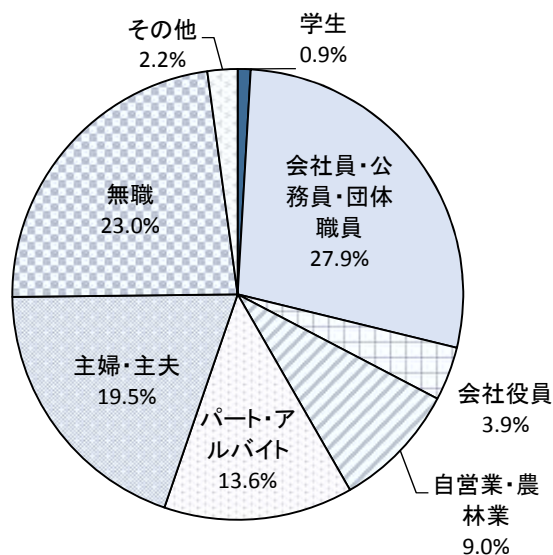
※居住地区不明の回答がある為、全体の有効回答数が上段の市全域の図表と異なる。

※※居住地域の区分は p.4 の問4 を参照

問3. あなたのご職業は。(1つ)

職業は、「会社員・公務員・団体職員」(27.9%)が最も多い。次に、「無職」(23.0%)、「主婦・主夫」(19.5%)と続いている。

	合計	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
			学生	会社員・公務員・団体職員	会社役員	自営業・農林業	パート・アルバイト	主婦・主夫	無職	その他	
合計	1299	1295	12	361	50	117	176	253	298	28	4
	-	100.0%	0.9%	27.9%	3.9%	9.0%	13.6%	19.5%	23.0%	2.2%	-

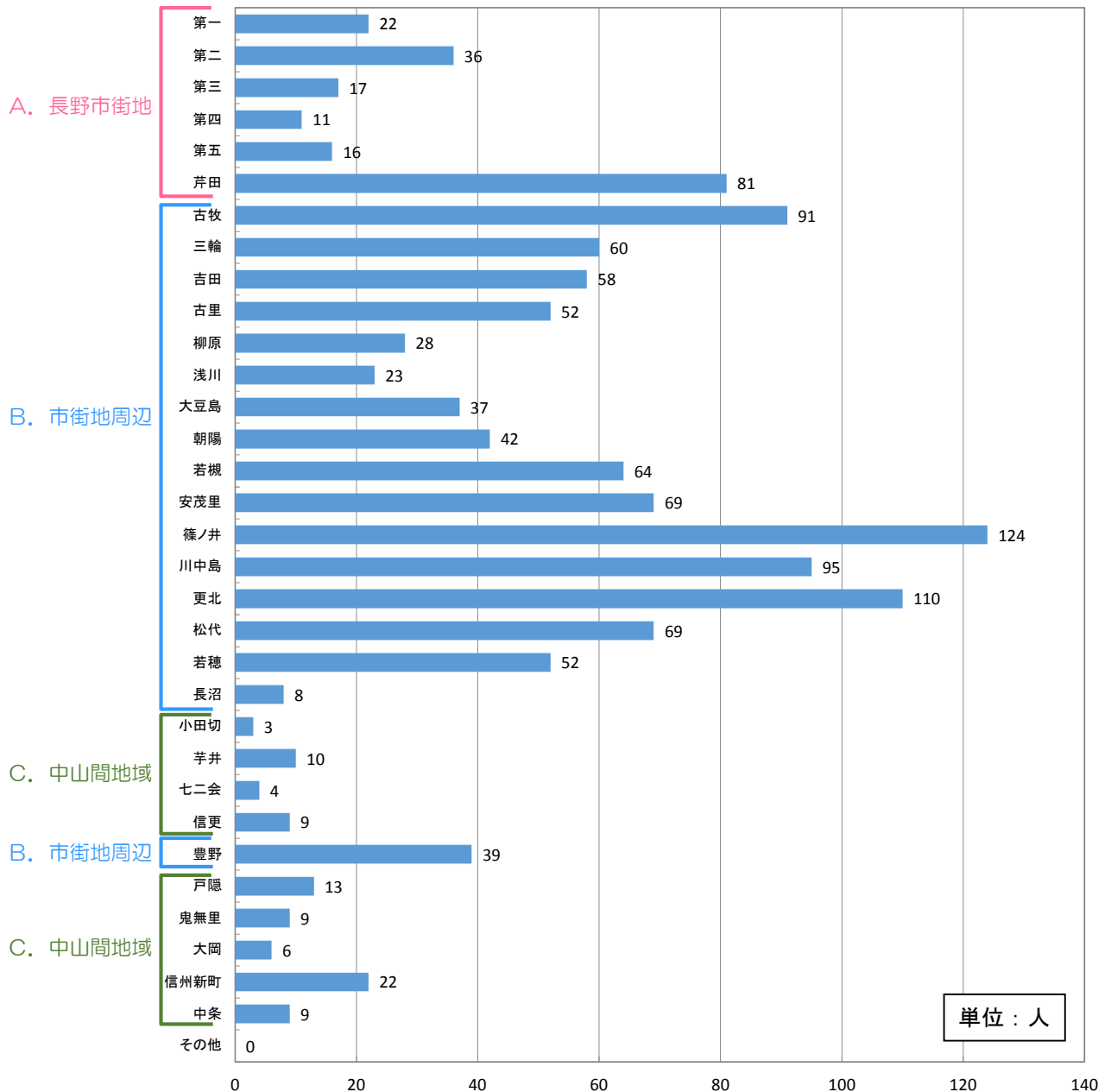


問4. あなたのお住まいの地区は。(1つ)

地区別にみると、「篠ノ井」(124人)が最も多い。次に、「更北」(110人)、「第一～第五」(102人)と続いている。

	合計	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
			第一	第二	第三	第四	第五	芹田	古牧	三輪	吉田	古里	柳原	浅川	大豆島	朝陽	若槻	安茂里	篠ノ井
合計	1299	1289	22	36	17	11	16	81	91	60	58	52	28	23	37	42	64	69	124
	-	100.0%	1.7%	2.8%	1.3%	0.9%	1.2%	6.3%	7.1%	4.7%	4.5%	4.0%	2.2%	1.8%	2.9%	3.3%	5.0%	5.4%	9.6%
			18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	
			川中島	更北	松代	若穂	長沼	小田切	芋井	七二会	信更	豊野	戸隠	鬼無里	大岡	信州新町	中条	その他	無回答
			95	110	69	52	8	3	10	4	9	39	13	9	6	22	9	0	10
			7.4%	8.5%	5.4%	4.0%	0.6%	0.2%	0.8%	0.3%	0.7%	3.0%	1.0%	0.7%	0.5%	1.7%	0.7%	0.0%	-

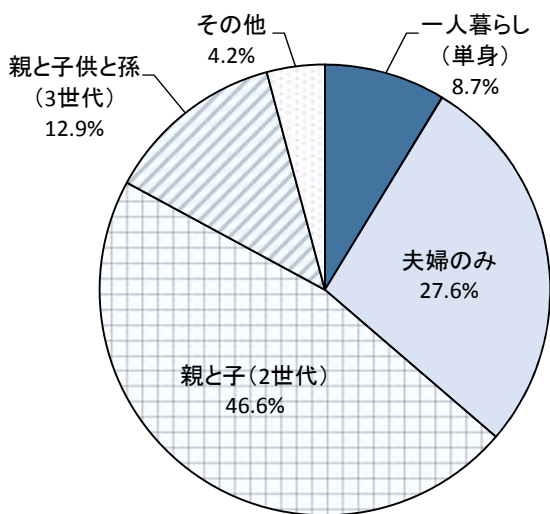
〈居住地域区分〉…居住地域別クロス集計のグループ。地域差(特徴)の把握の為、下記A～Cの3区分に分類。



問5. あなたの世帯構成は。(1つ)

世帯構成は、「親と子（2世代）」（46.6%）が最も多い。次いで「夫婦のみ世帯」（27.6%）となっている。

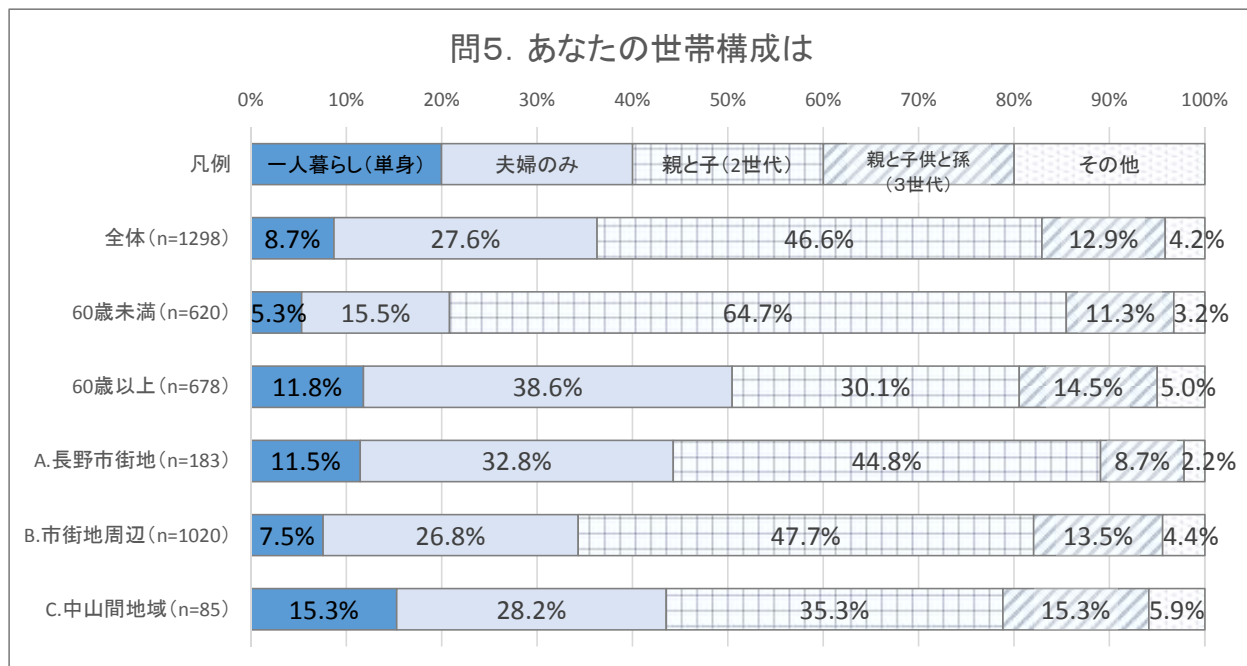
	合計	有効回答数	1	2	3	4	5	無回答
			(一人暮らし)	夫婦のみ	(親と子2世代)	(親と子3世代)	その他	
合計	1299	1298	113	358	605	168	54	1
	-	100.0%	8.7%	27.6%	46.6%	12.9%	4.2%	-



【参考】年齢層別・居住地域別結果

年齢層別でみると、60歳未満の単身者世帯は5.3%に対し、60歳以上の単身者世帯は11.8%と2倍以上の差がある。

居住地域別でみると、長野市街地と中山間地域で単身世帯の割合がそれぞれ11.5%、15.3%と市全体に比べ多い傾向がある。

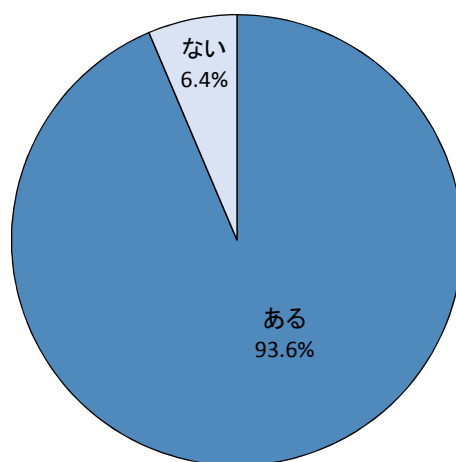


※居住地区不明の回答がある為、各地域を合計した回答数と全体の有効回答数が異なる。

問6. あなたの世帯には自動車がありますか。(1つ)

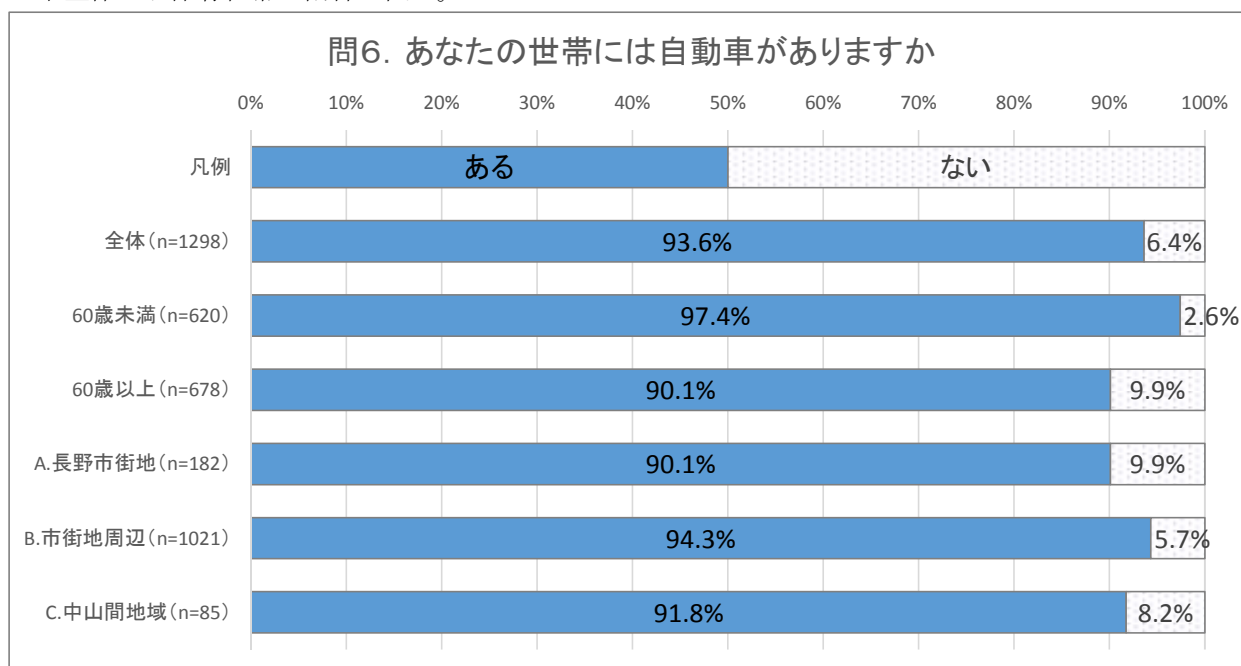
自動車のある世帯は、93.6%と高い。

	合計	有効回答数	1	2	無回答
			ある	ない	
合計	1299	1298	1215	83	1
	-	100.0%	93.6%	6.4%	-



【参考】年齢層別・居住地域別結果

自動車の保有世帯は、全ての階層とも9割を超える。90歳以上、長野市街地、中山間地域では若干市全体より保有世帯の割合が低い。

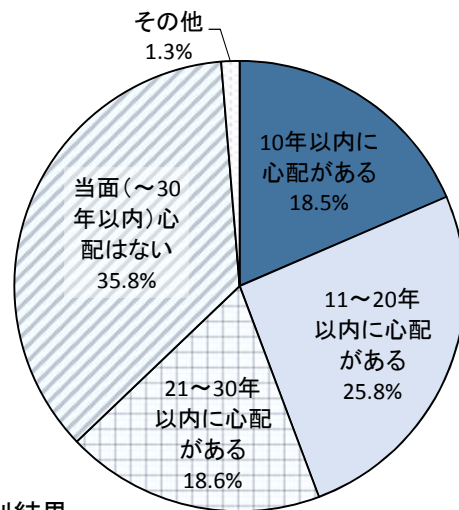


※居住地区不明の回答がある為、各地域を合計した回答数と全体の有効回答数が異なる。

問7. 将来、世帯員の高齢化などにより、あなたの世帯で、運転できる人がいなくなる心配はありますか。(1つ) ※問6で「ある」と答えた方

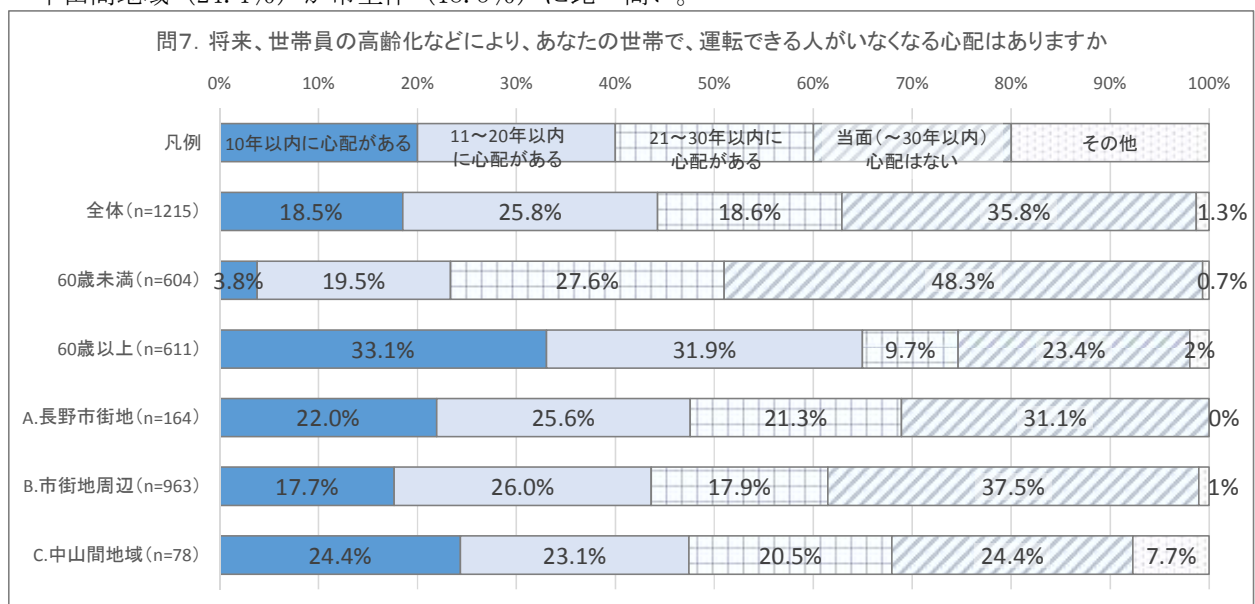
将来高齢化などで運転できる人がいなくなる心配のある世帯は、「10年以内」(18.5%)、「11～20年以内」(25.8%)となっている。

	合計	有効回答数	1	2	3	4	5	無回答
			10年以内 に心配が ある	11～20年 以内 に心配が ある	21～30年 以内 に心配が ある	当面(～30年 以内) 心配は ない	その他	
合計	1215	1215	225	313	226	435	16	0
	-	100.0%	18.5%	25.8%	18.6%	35.8%	1.3%	-



【参考】年齢層別・居住地域別結果

10年以内に運転できる人がいなくなる心配のある世帯は60歳以上(33.1%)、長野市街地(22.0%)、中山間地域(24.4%)が市全体(18.5%)に比べ高い。



※居住地区不明の回答がある為、各地域を合計した回答数と全体の有効回答数が異なる。

II. 長野市のまちづくり（地域づくり）についてお答えください。

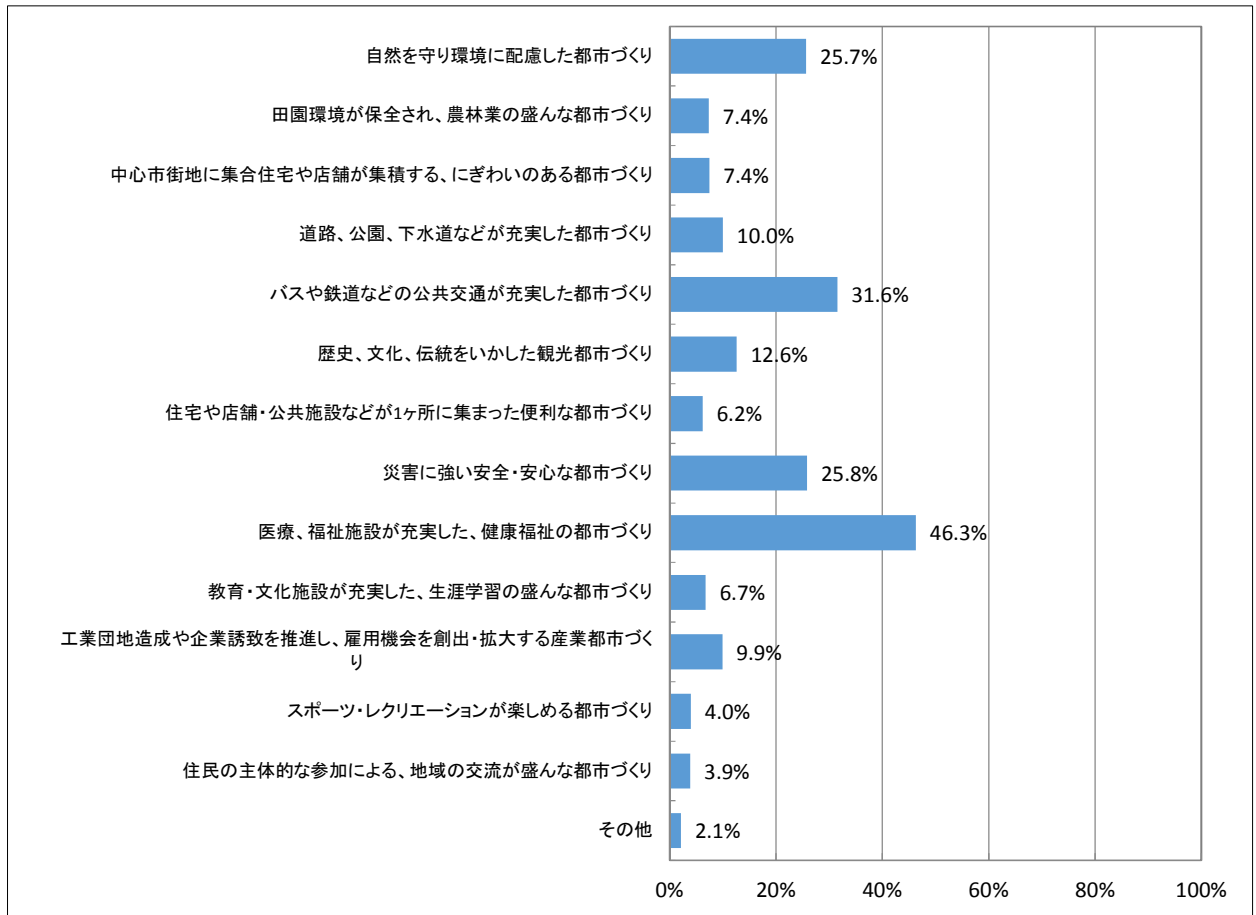
問8. 長野市のまちづくりには、今後どのような方向に発展するのが望ましいとお考えですか。

次の中から2つお選びください。

長野市のまちづくりの望ましい方向性は、「医療、福祉施設の充実」(46.3%)が最も高く、「公共交通の充実」(31.6%)、「災害に強い都市づくり」(25.8%)、「自然保全・環境配慮」(25.7%)などが続いている。

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)

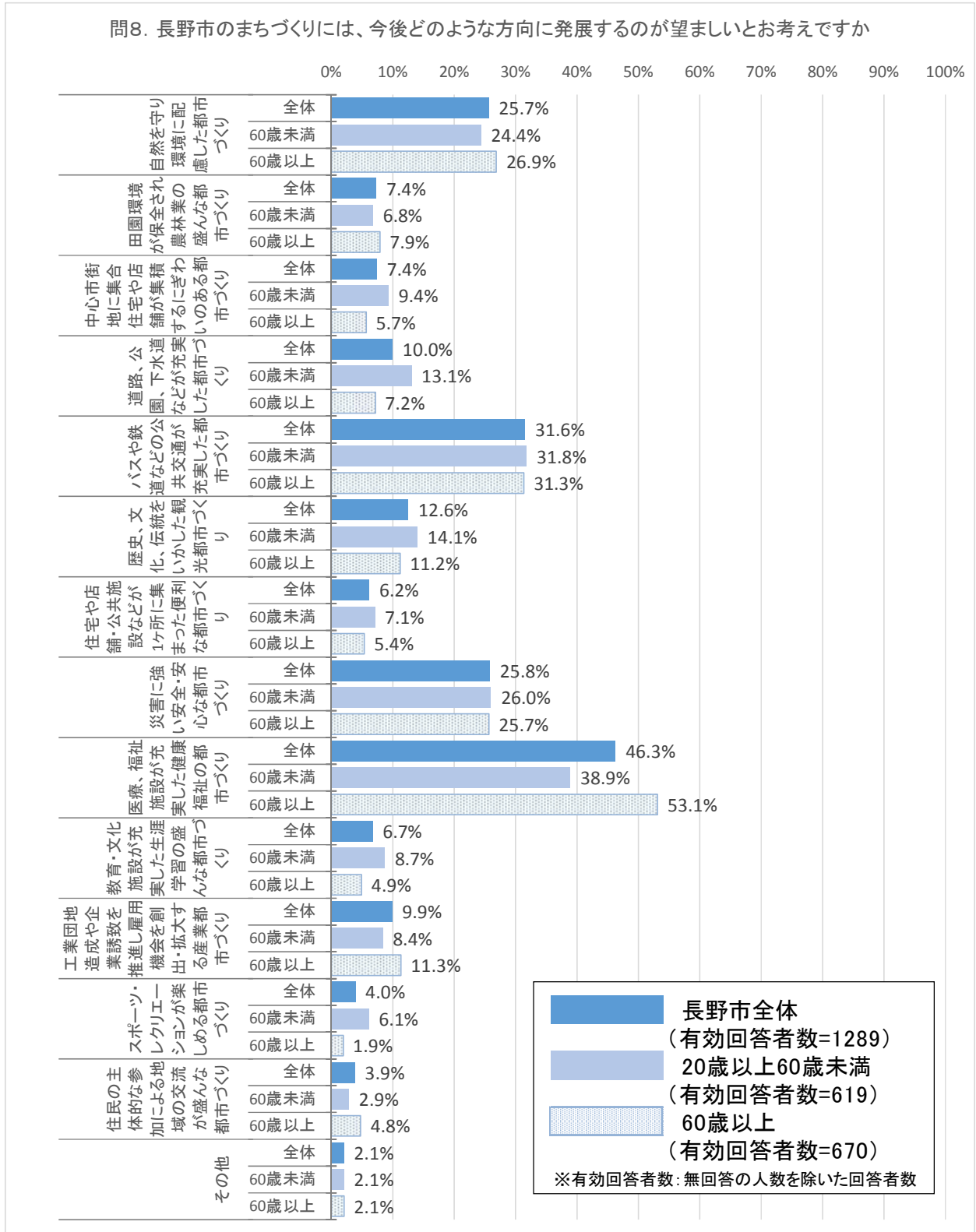
	合計	有効回答者数	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	無回答
				自然を守り環境に配慮した都市づくり	田園環境が保全され、農林業の盛んな都市づくり	中心市街地に集合住宅や店舗が集積する、にぎわいのある都市づくり	道路、公園、下水道などが充実した都市づくり	バスや鉄道などの公共交通が充実した都市づくり	歴史、文化、伝統をいかした観光都市づくり	住宅や店舗・公共施設などが1ヶ所に集まった便利な都市づくり	災害に強い安全・安心な都市づくり	医療、福祉施設が充実した、健康福祉の都市づくり	教育・文化施設が充実した、生涯学習の盛んな都市づくり	産業都市づくり	工業団地造成や企業誘致を推進し、雇用機会を創出・拡大する産業都市づくり	スポーツ・レクリエーションが楽しめる都市づくり	住民の主体的な参加による、地域の交流が盛んな都市づくり	
合計	1299	1289	2573	331	95	96	129	407	162	80	333	597	87	128	51	50	27	10
	-	100.0%	-	25.7%	7.4%	7.4%	10.0%	31.6%	12.6%	6.2%	25.8%	46.3%	6.7%	9.9%	4.0%	3.9%	2.1%	-



【参考】年齢層別結果

年齢層別でみると、60未満・以上ともに「医療、福祉施設の充実」という回答が最も多い。次に「公共交通の充実」、「災害に強い都市づくり」、「自然保全・環境配慮」などが続いている。

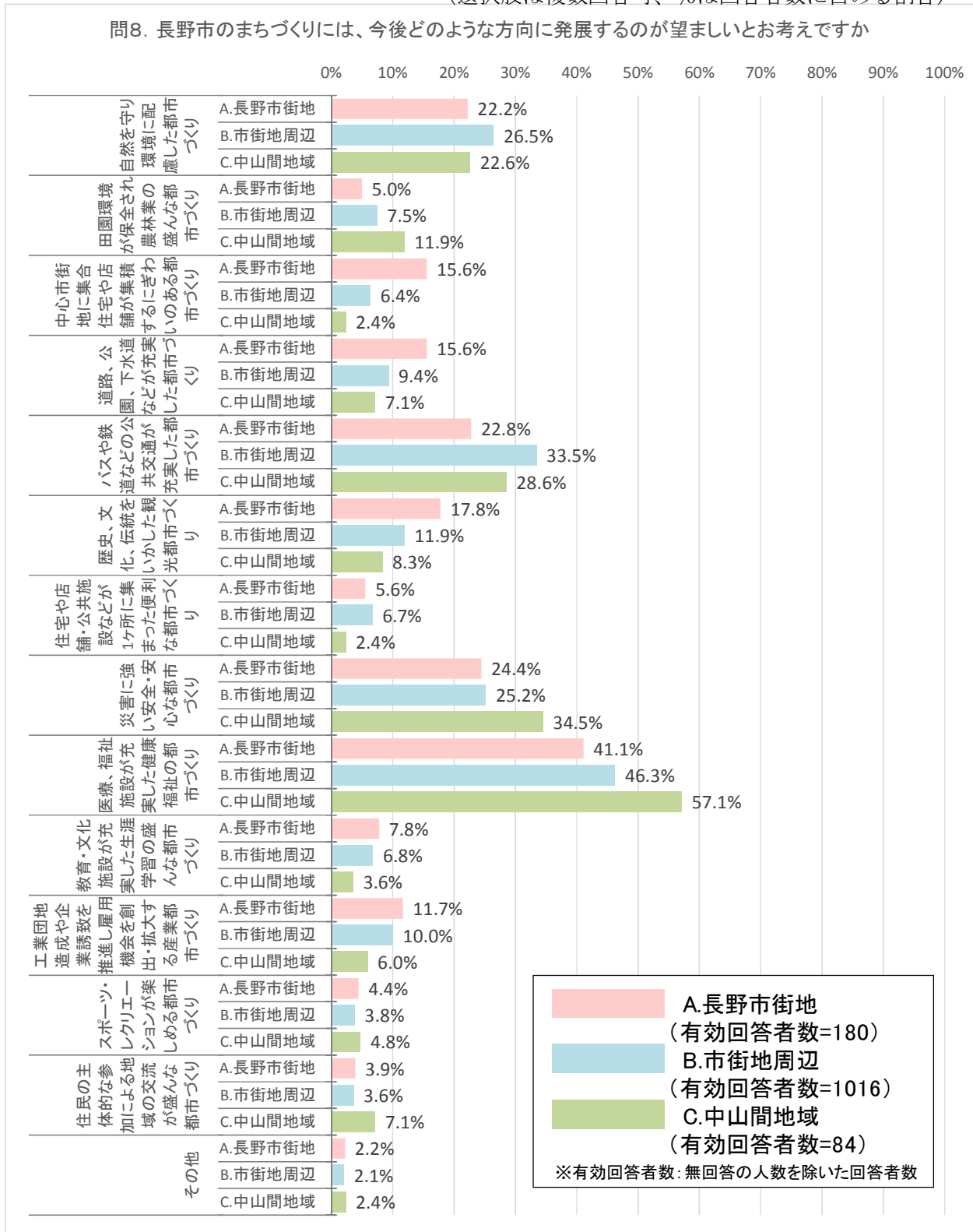
(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



【参考】 居住地域別結果

居住地域別でも、上位項目は市全体や年齢層別と同様の傾向にあるが、「中心市街地のにぎわい」、「道路、公園、下水道などの充実」、「歴史、文化、伝統を活かした観光都市」、「教育・文化施設の充実」などでは、市街地に比べ中山間地域では半数以下の割合となっている。一方で「農林業の都市づくり」や「住民参加、地域交流」では、中山間地域が市街地の約2倍の回答割合となっている。

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



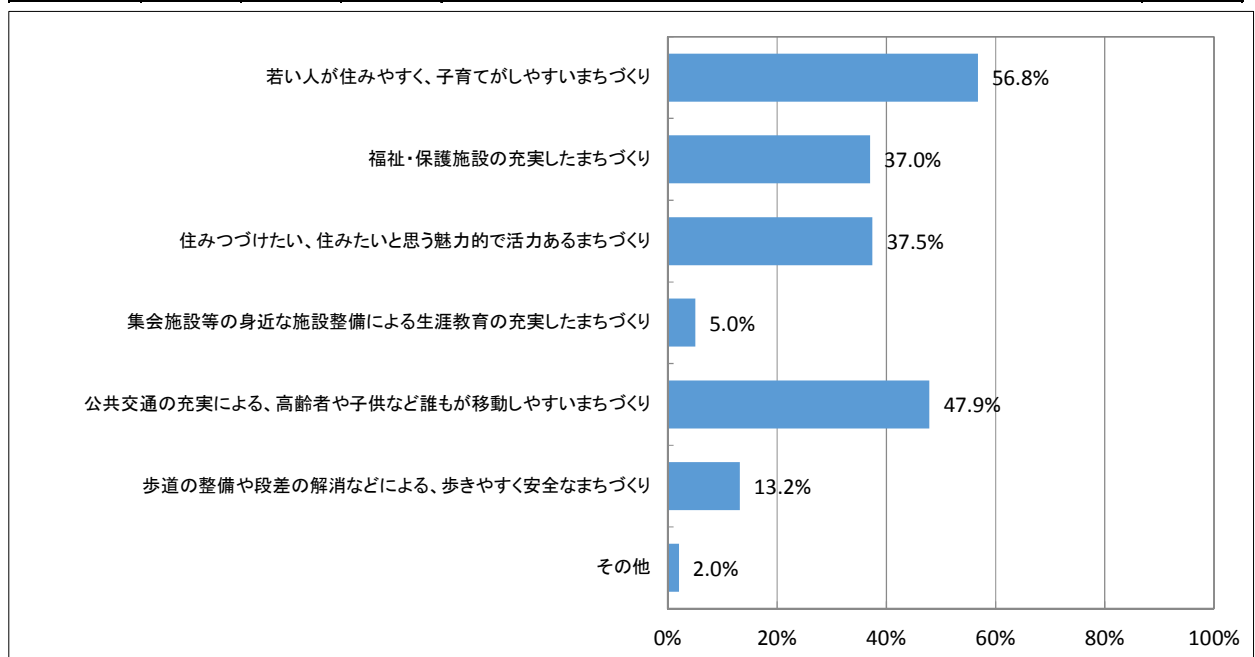
※居住地区不明及び問8 無回答の回答者を除く。

問9. これからは、子供が少なく高齢者が増え、人口も減少していくことが予想されています。このために重点的に行うべきまちづくりは何だとお考えですか。次の中から2つお選びください。

少子高齢化・人口減少社会に対する重点施策は、「子育てしやすいまちづくり」(56.8%)、「公共交通充実」(47.9%)などの回答が多い。

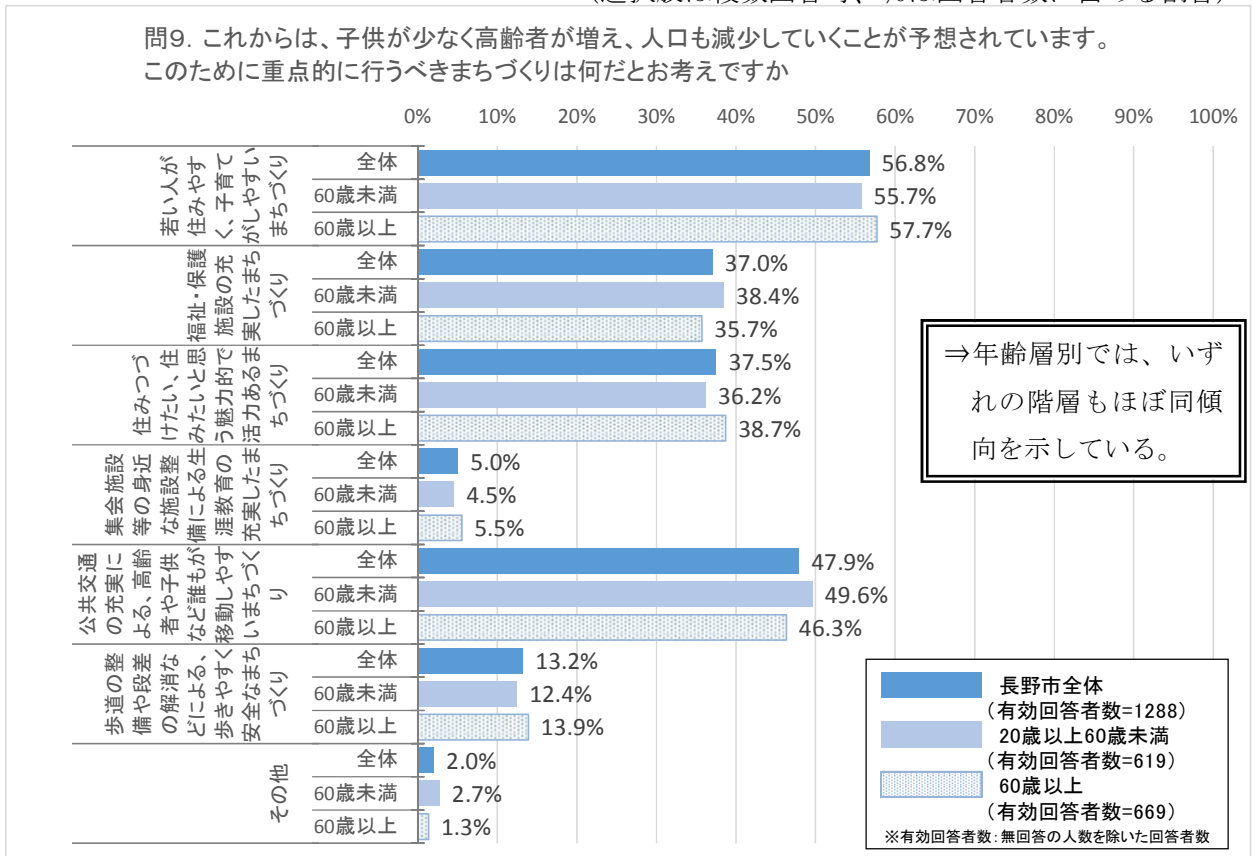
(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)

	合計	有効回答者数	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	無回答
				ち若 づい くり 人 が 住 み や す く 、 子 育 て が し や す い ま	福 祉 ・ 保 護 施 設 の 充 実 し た ま ち づ くり	活 力 あ る ま ち づ くり 、 住 み た い と 思 う 魅 力 的 で	育 集 会 施 設 等 の 身 近 な 施 設 整 備 に よ る 生 涯 教 育 の 充 実 し た ま ち づ くり	誰 も が 移 動 し や す い ま ち づ くり 、 高 齢 者 や 子 供 な ど	や 歩 道 の 整 備 や 段 差 の 解 消 な ど に よ る 、 歩 き や す く 安 全 な ま ち づ くり	そ の 他	
合計	1299	1288	2569	731	477	483	65	617	170	26	11
	-	100.0%	-	56.8%	37.0%	37.5%	5.0%	47.9%	13.2%	2.0%	-



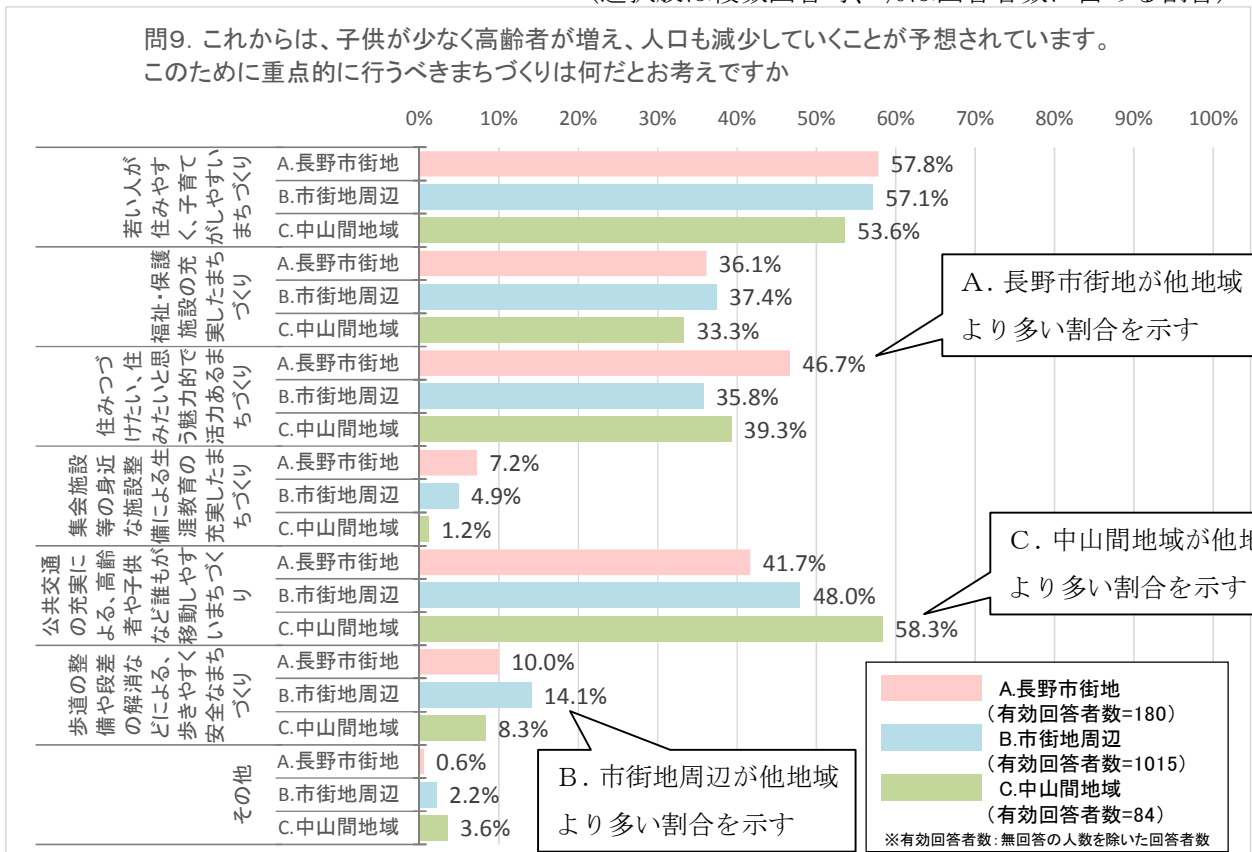
【参考】年齢層別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



【参考】居住地域別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



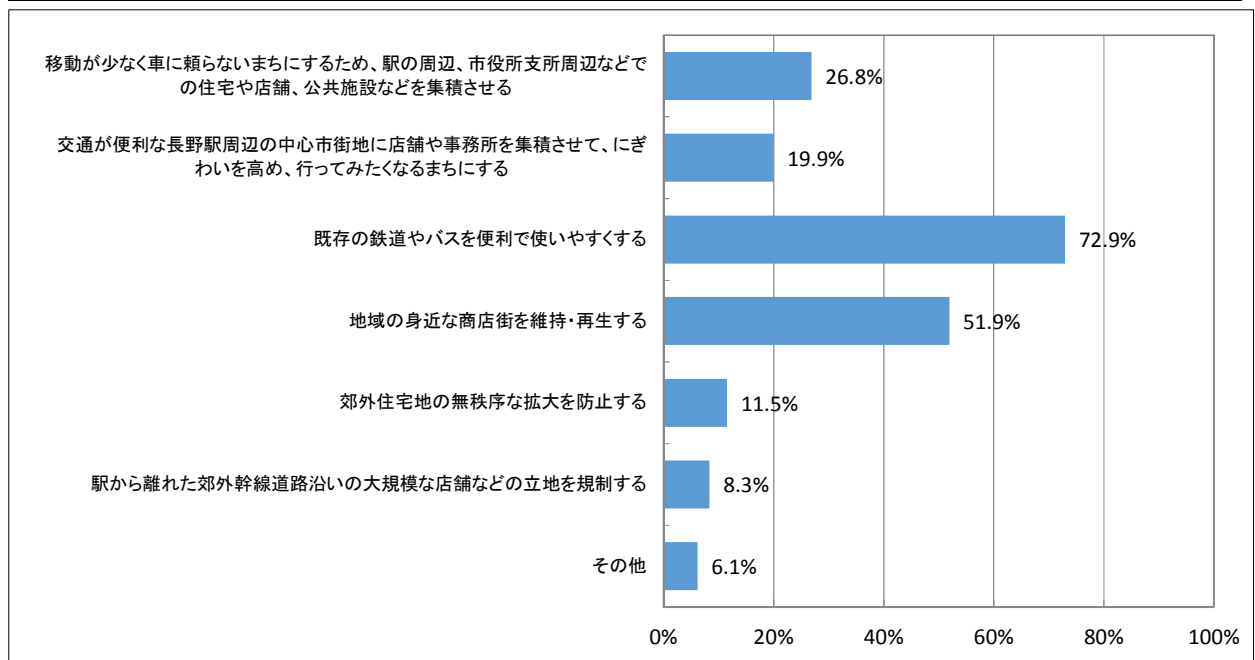
※居住地区不明及び問9 無回答の回答者を除く。

問10. 高齢化社会における移動手段の確保のため、鉄道やバスなどの公共交通を維持し、生活に必要な施設を駅周辺などに集積させることの必要性が指摘されています。このことに対して重点的に行うべきまちづくりは何だとお考えですか。次の中から2つお選びください。

公共交通を維持し、生活利便施設を駅周辺に立地させるための重点施策は、「既存の鉄道・バスを便利にする」(72.9%)、「地域の商店街の維持・再生」(51.9%)、「駅や支所周辺への住宅・店舗等の集積」(26.8%)などの回答が多い。

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)

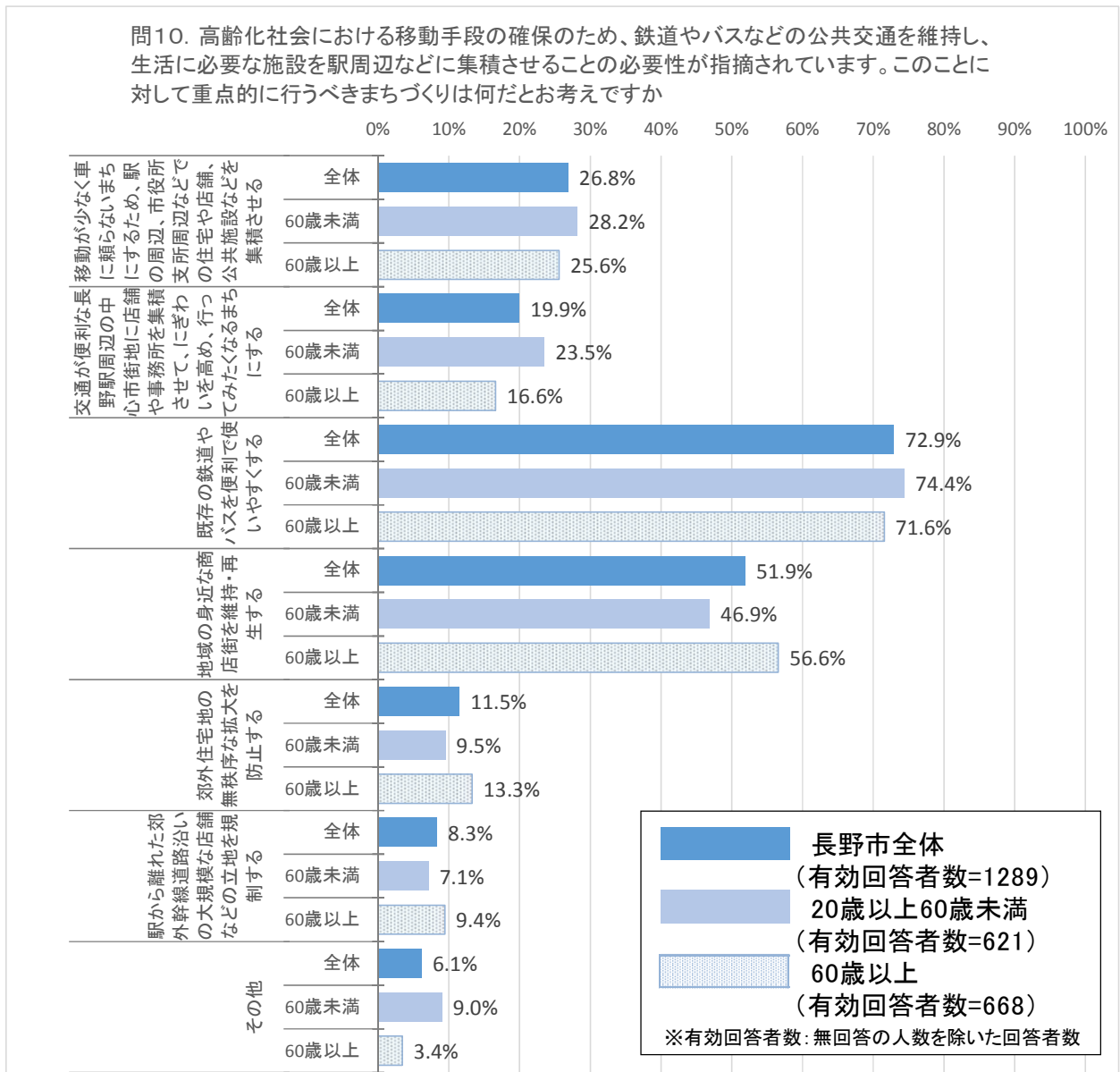
	合計	有効回答者数	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	無回答
				宅め移め舗交 や、動、や、通 店舗の少が、行、が 、周くなく、事務 、公、車に、み、利 施市役頼らな集積長 設な支所ないま野 などを所周まちに、 集積周辺に、中 させるとする、心 るた、する、市 のた、する、街 住、する、地 に店	め舗交 、や、通 、行、が 、み、利 、車に、集積長 、市役頼らな野 、支所ないま、 、周辺に、中 、と、する、心 、と、する、市 、と、する、街 、と、する、地 、と、する、に	既 存 の 鉄 道 や バ ス を 便 利 で 使 い や す く す る	地 域 の 身 近 な 商 店 街 を 維 持 ・ 再 生 す る	郊 外 住 宅 地 の 無 秩 序 な 拡 大 を 防 止 す る	店 舗 な ど の 離 れ た 郊 外 幹 線 道 路 沿 い の 大 規 模 な	そ の 他	
合計	1299	1289	2546	346	257	940	669	148	107	79	10
	-	100.0%	-	26.8%	19.9%	72.9%	51.9%	11.5%	8.3%	6.1%	-



【参考】年齢層別結果

上位項目は市全体と同様の傾向にある。

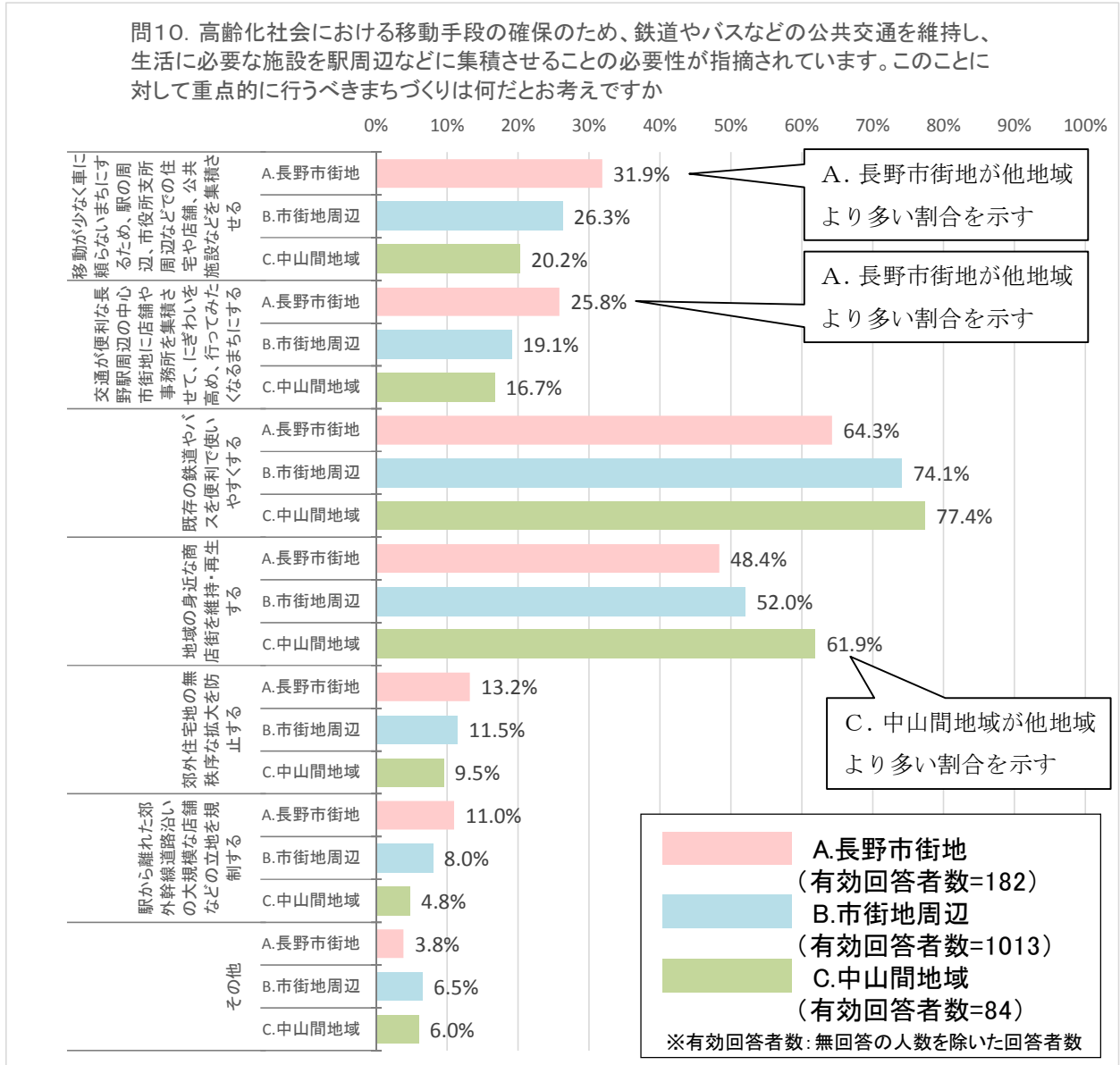
(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



【参考】 居住地域別結果

上位項目は市全体や年齢層別と同様の傾向にある。

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



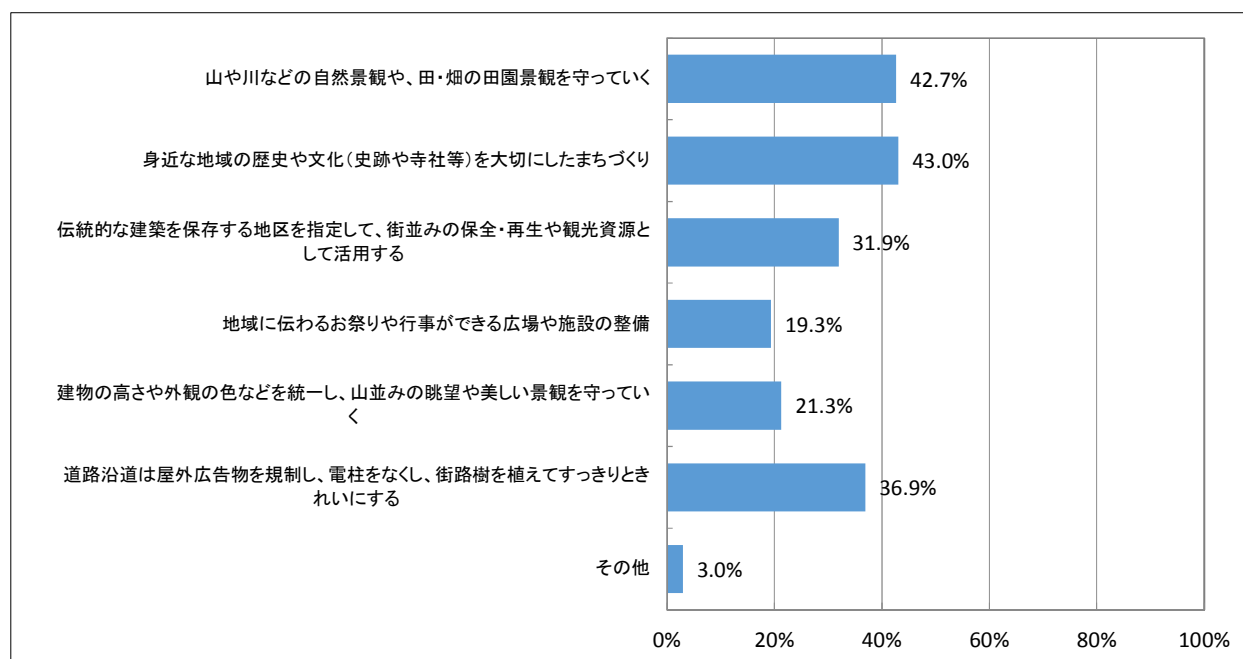
※居住地区不明及び問10無回答の回答者を除く。

問 1 1. 長野市を魅力があり、特色ある都市とするには、自然や歴史・文化を大切にしまちづくりが重要と考えられますが、このために重点的に行うべきまちづくりは何だとお考えですか。次の中から2つお選びください。

自然や歴史・文化を大切にしまちづくりの重点施策は、「身近な史跡・寺社を大切にする」(43.0%)、「山川などの自然景観や田園景観を守る」(42.7%)、「屋外広告規制・無電柱化など」(36.9%)などの回答が多い。

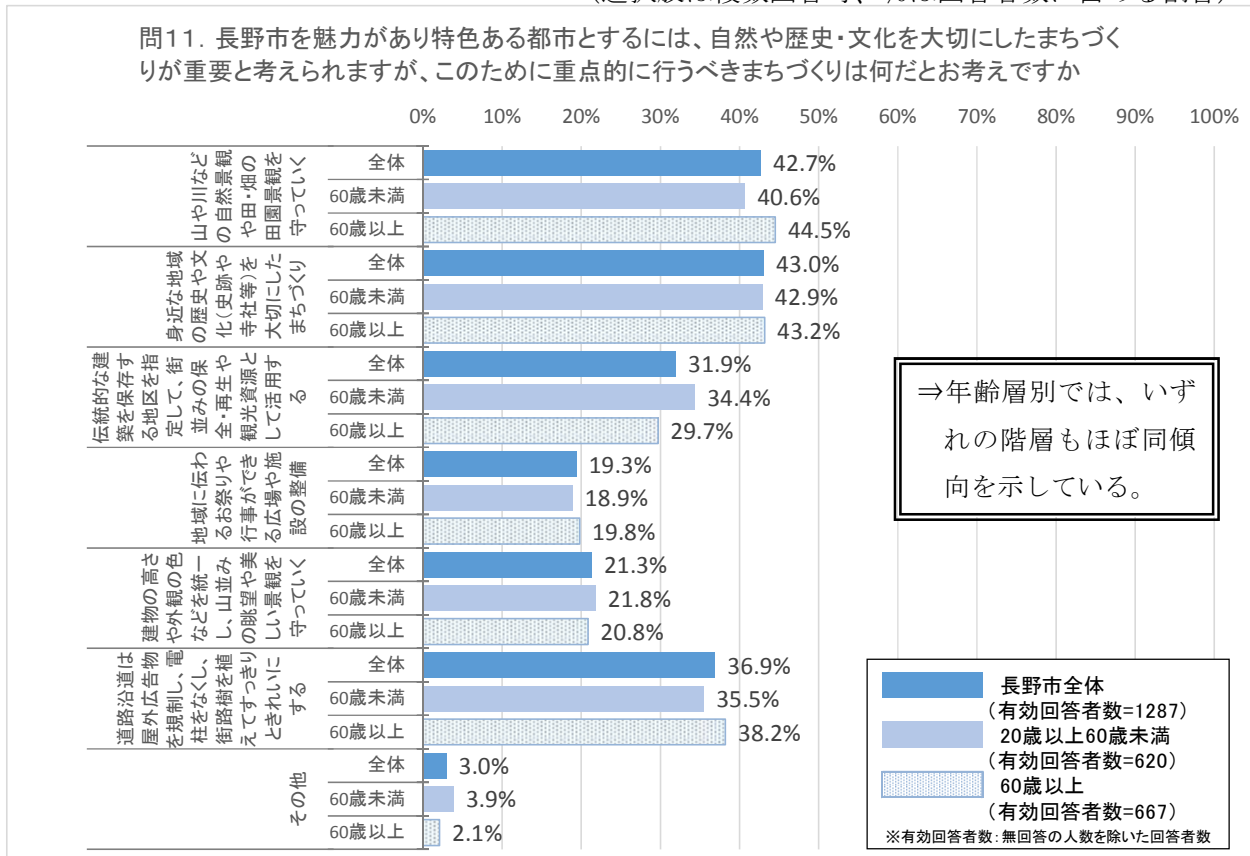
(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)

	合計	有効回答者数	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	無回答
				観山や川などの自然景観や、田・畑の田園景観を守っていく	身近な地域の歴史や文化(史跡や寺社等)を大切にしまちづくり	伝統的な建築を保存する地区を指定して活用する	地域に伝わるお祭りや行事ができる広場や施設の整備	建物の高さや外観の色などを統一し、山並みの眺望や美しい景観を守っていく	道路沿道は屋外広告物を規制し、電柱をなくし、街路樹を植えてすっきりときれいにする	その他	
合計	1299	1287	2550	549	554	411	249	274	475	38	12
	-	100.0%	-	42.7%	43.0%	31.9%	19.3%	21.3%	36.9%	3.0%	-



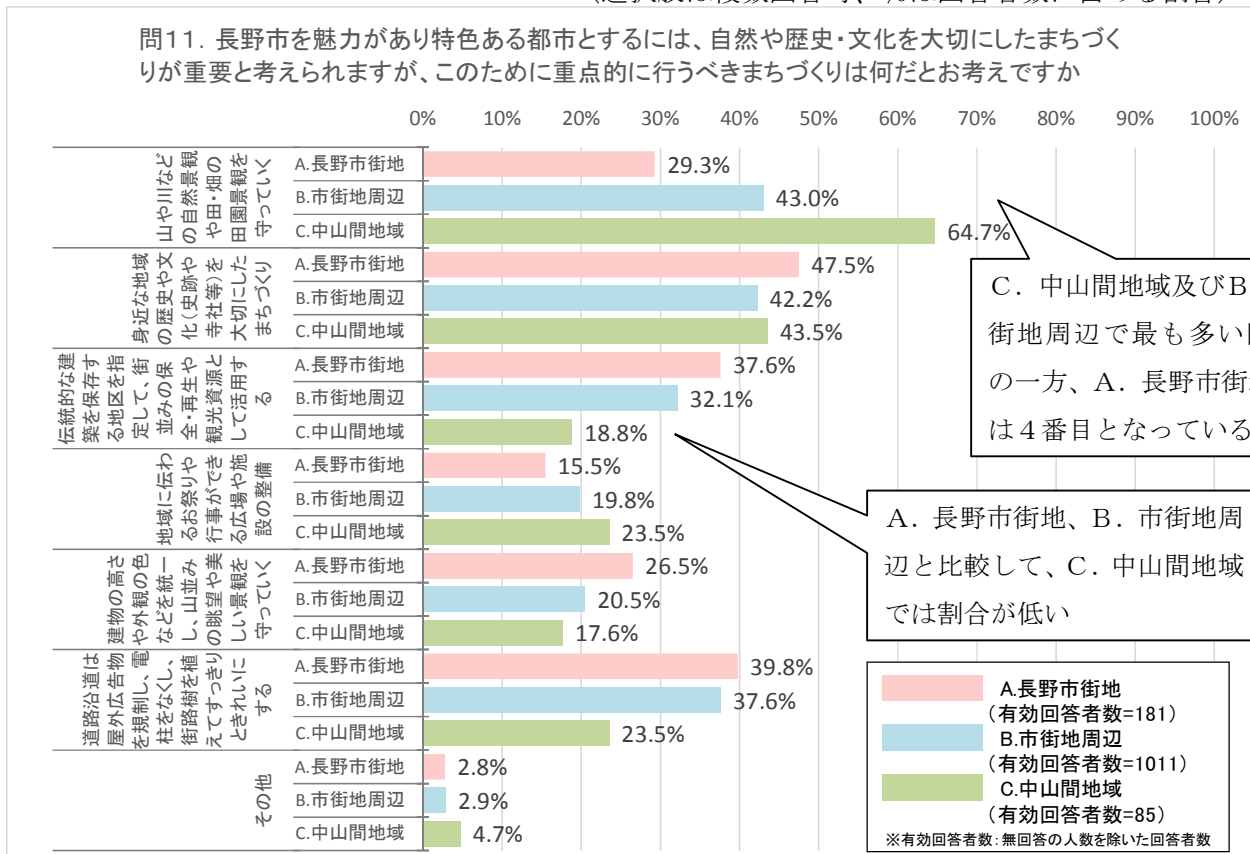
【参考】年齢層別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



【参考】居住地域別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



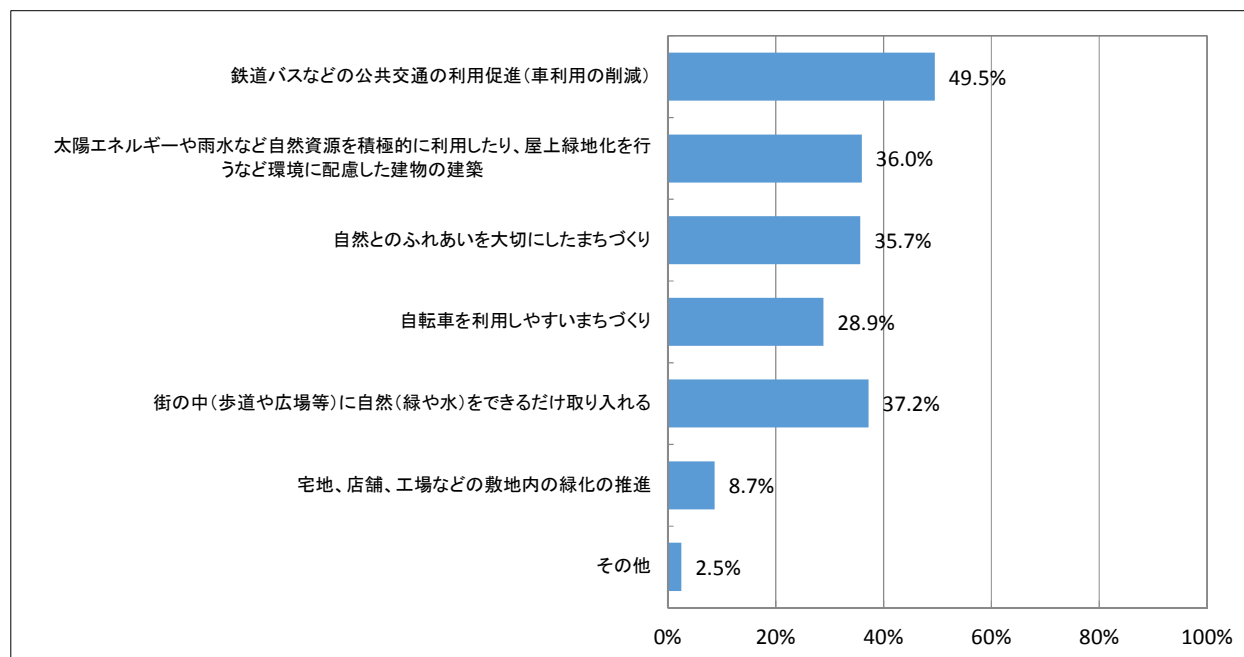
※居住地区不明及び問11無回答の回答者を除く。

問12. 近年、環境に配慮し自然と共生していくことの重要性が指摘されています。このために重点的に行うべきまちづくりは何だとお考えですか。次の中から2つお選びください。

各種の環境との共生に対する重点的施策は、「公共交通利用促進」(49.5%)、「街中に自然を取り入れる」(37.2%)、「自然エネルギー等の活用」(36.0%)などの回答が多い。

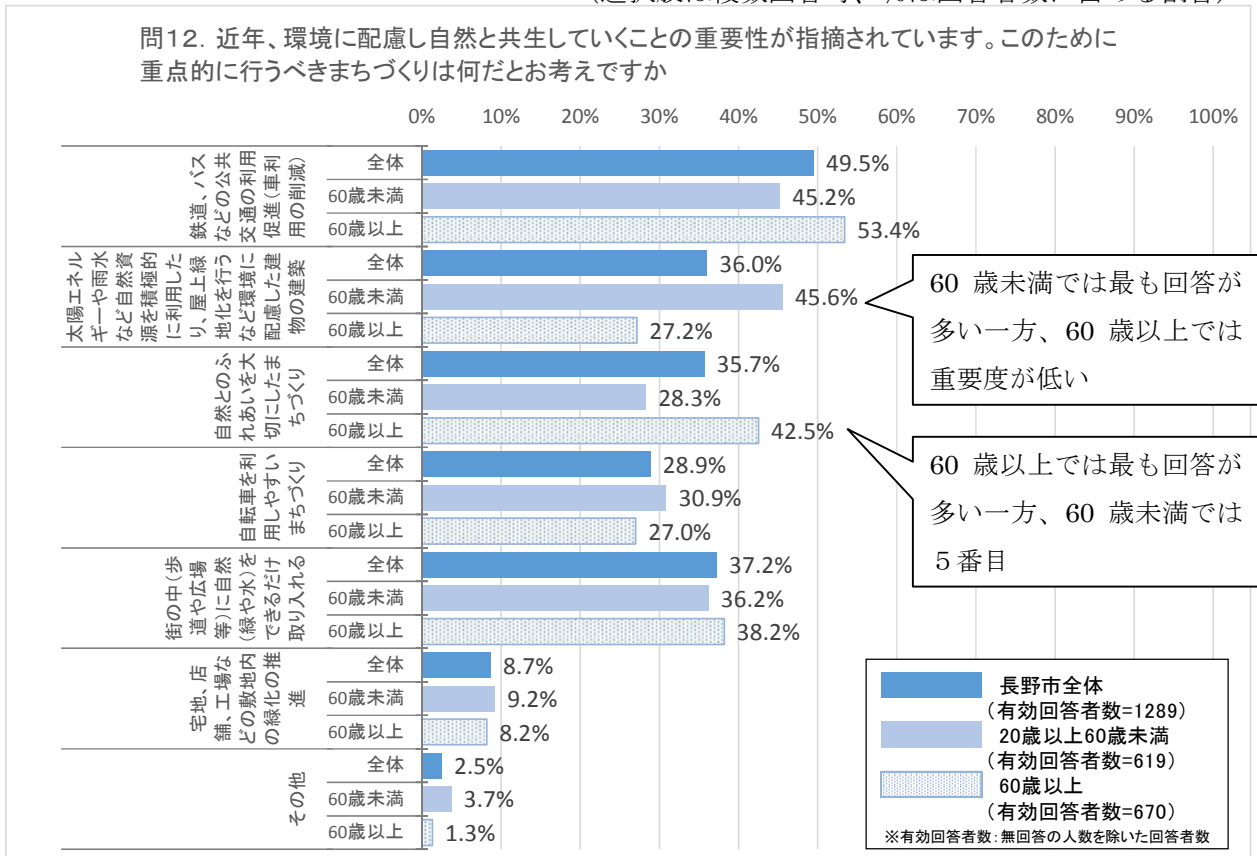
(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)

	合計	有効回答者数	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	無回答
				用鉄道の削減)	境的に配慮した建物の建築	太陽エネルギーや雨水など自然資源を積極的に利用したり、屋上緑地化を行うなど環境に配慮した建物の建築	自然とのふれあいを大切にしまちづくり	自転車を利用しやすいまちづくり	街の中(歩道や広場等)に自然(緑や水)をできるだけ取り入れる	進宅地、店舗、工場などの敷地内の緑化の推進	
合計	1299	1289	2568	638	464	460	372	480	112	32	10
	-	100.0%	-	49.5%	36.0%	35.7%	28.9%	37.2%	8.7%	2.5%	-



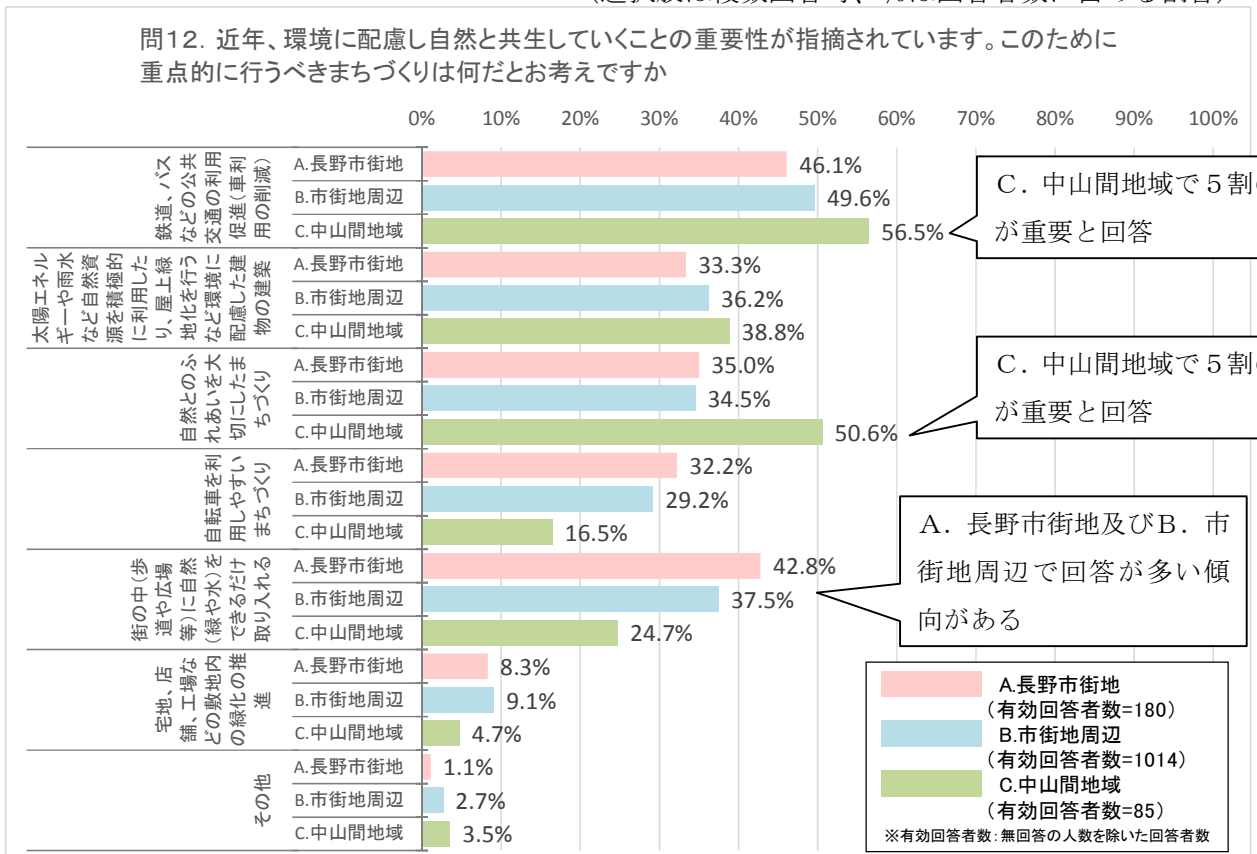
【参考】年齢層別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



【参考】居住地域別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



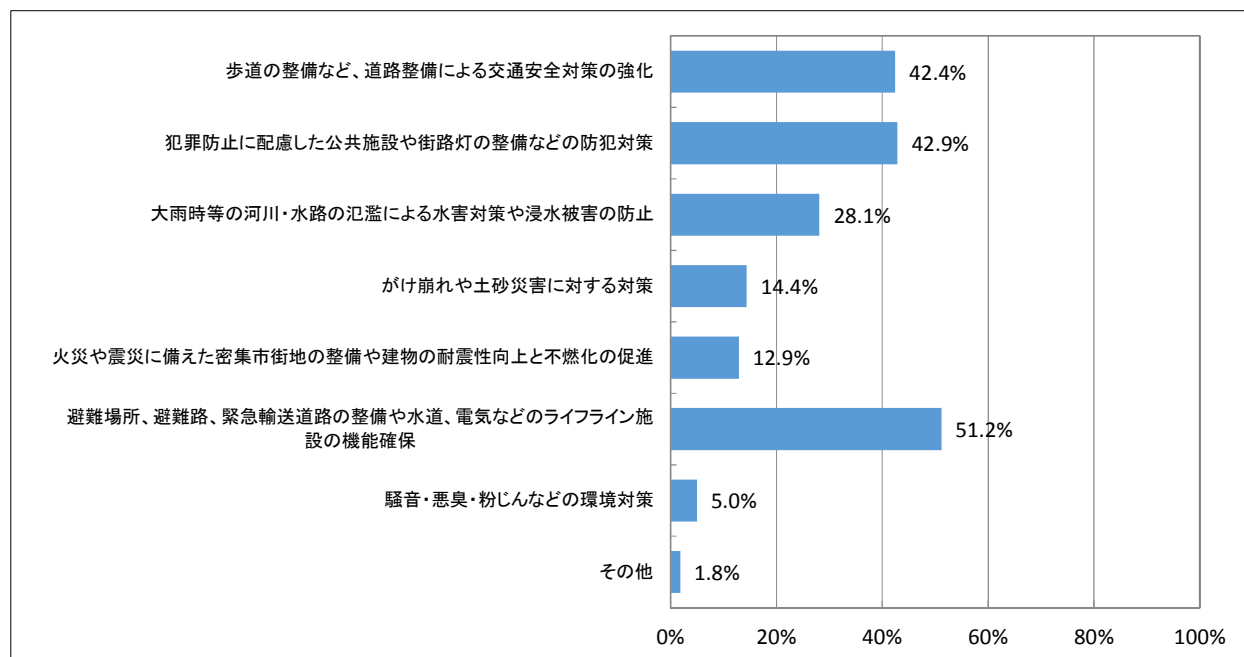
※居住地区不明及び問12無回答の回答者を除く。

問13. 近年、安全・安心のまちづくりの重要性が指摘されています。このために重点的に行うべきまちづくりは何だとお考えですか。次の中から2つお選びください。

安全・安心のまちづくりに対する重点施策は、「避難場所・避難道路等の整備、ライフラインなどの維持」(51.2%)、「犯罪防止に配慮した防犯対策」(42.9%)、「歩道整備等の交通安全対策」(42.4%)などの回答が多い。

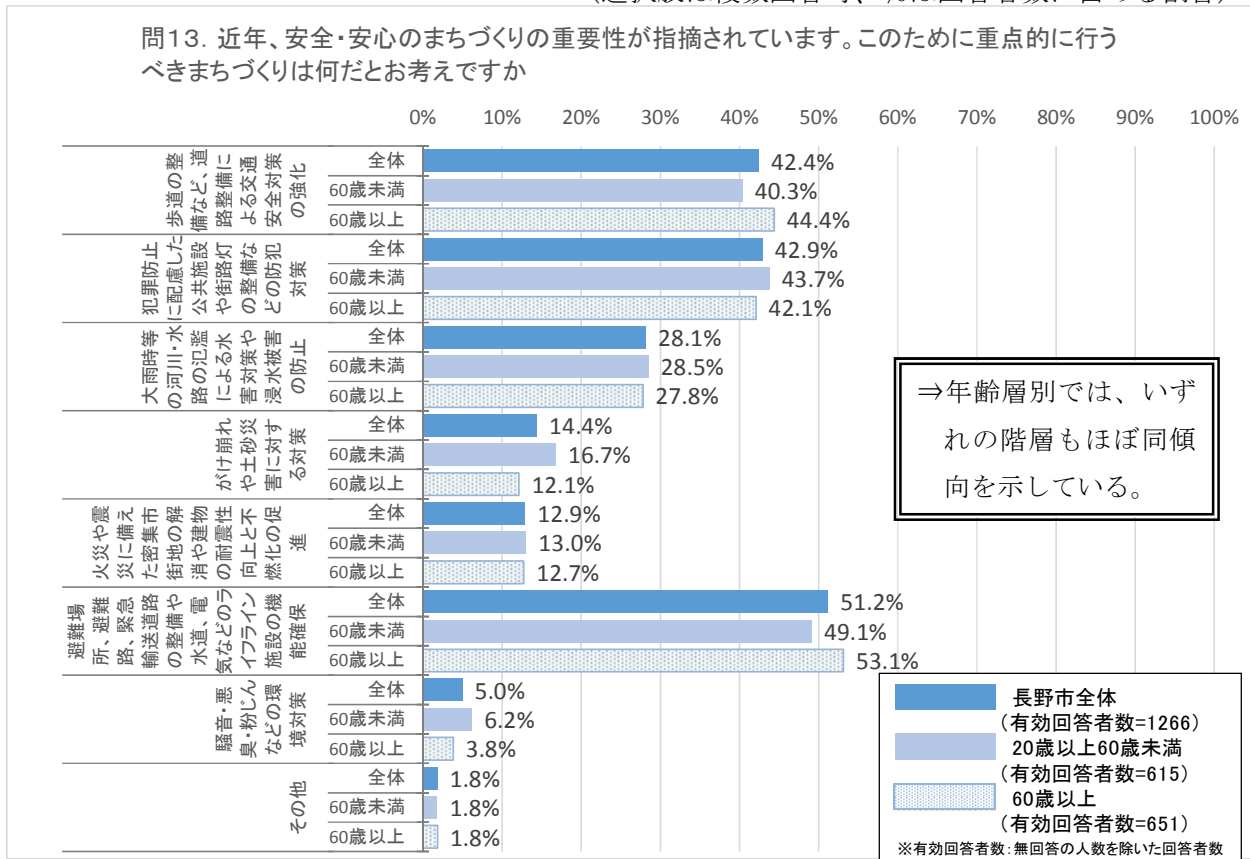
(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)

	合計	有効回答者数	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
				対歩道の整備など、道路整備による交通安全強化	備犯罪防止に配慮した公共施設や街路灯の整備	策大雨時等の河川・水路の氾濫による水害対策	がけ崩れや土砂災害に対する対策	物の耐震性向上と不燃化の促進	確保水道、電気などのライフライン施設の機能	避難場所、避難路、緊急輸送道路の整備や	騒音・悪臭・粉じんなどの環境対策	
合計	1299	1266	2515	537	543	356	182	163	648	63	23	33
	-	100.0%	-	42.4%	42.9%	28.1%	14.4%	12.9%	51.2%	5.0%	1.8%	-



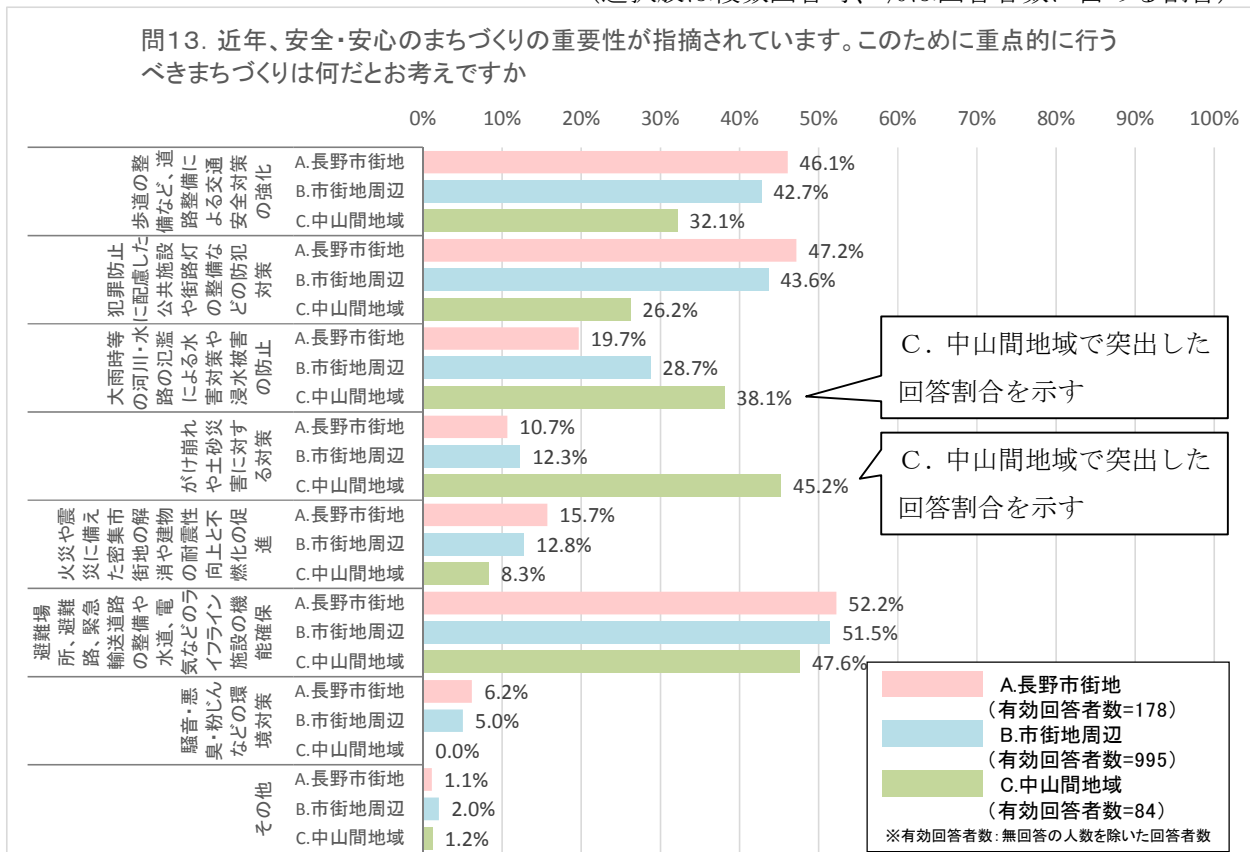
【参考】年齢層別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



【参考】居住地域別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



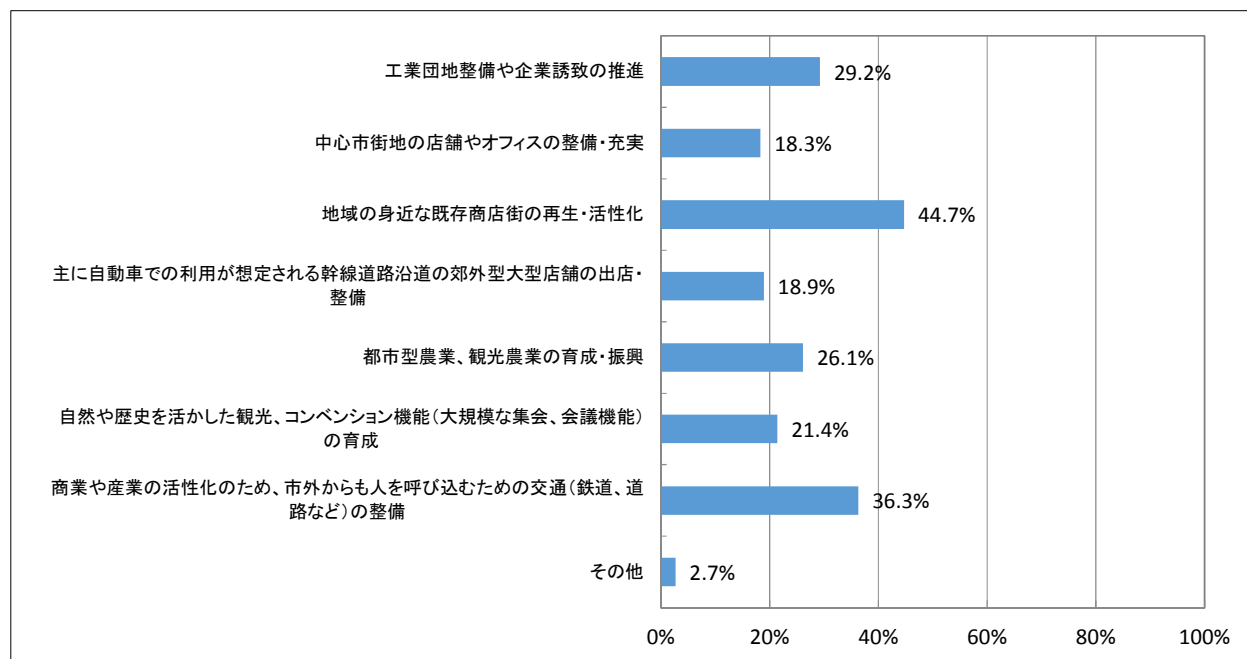
※居住地区不明及び問13無回答の回答者を除く。

問14. 人口減少のなかで、長野市が自立し活力ある都市として存続していくためには、商工業などの産業振興を支えるまちづくりが重要であると考えられます。このために重点的に行うべきまちづくりは何だとお考えですか。次の中から2つお選びください。

商工業などの産業振興に対する重点施策は、「既存商店街の再生・活性化」(44.7%)、「市外から人を呼び込む交通整備」(36.3%)、「工業団地整備等」(29.2%)などの回答が多い。

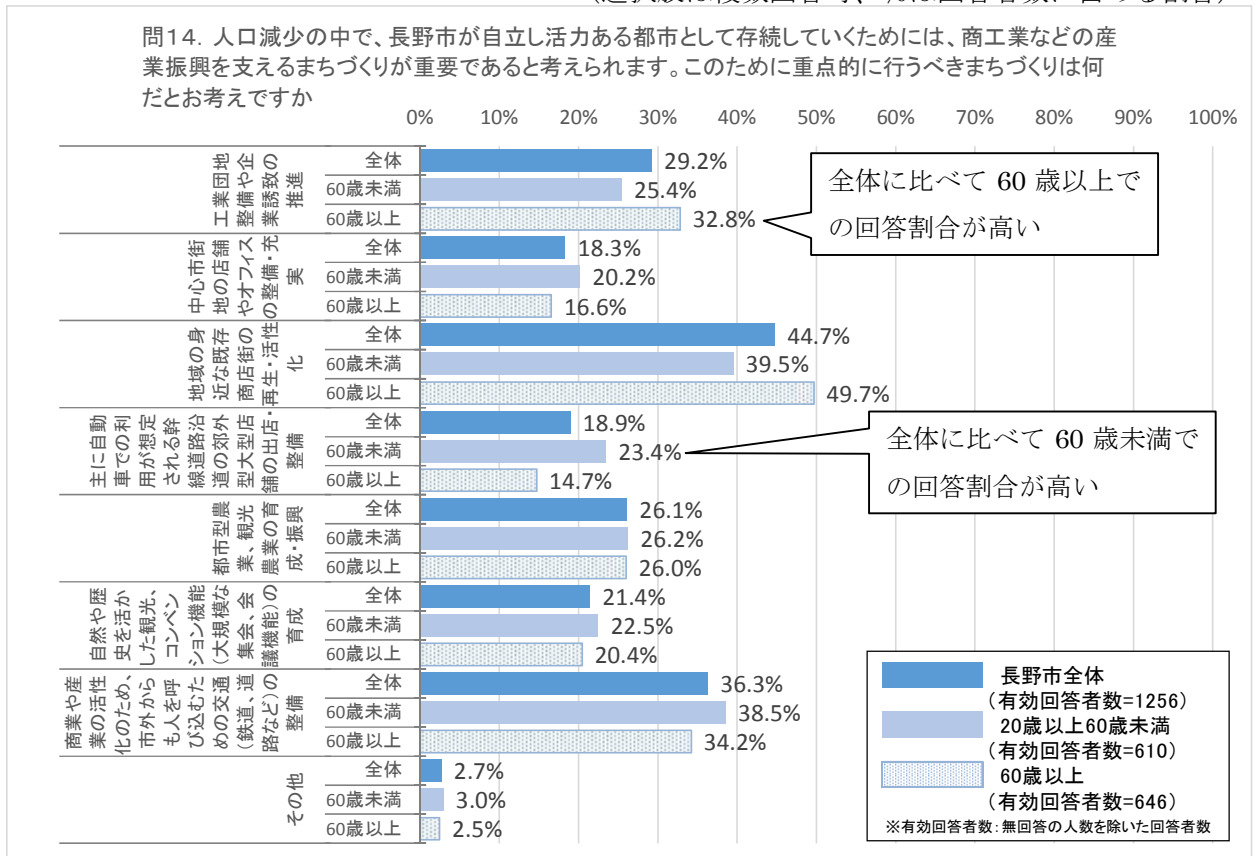
(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)

	合計	有効回答者数	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
				工業団地整備や企業誘致の推進	中心市街地の店舗やオフィスの整備・充実	地域の身近な既存商店街の再生・活性化	主に自動車での利用が想定される幹線道路沿道の郊外型大型店舗の出店・整備	都市型農業、観光農業の育成・振興	自然や歴史を活かした観光、コンベンション機能(大規模な集会、会議機能)の育成	商業や産業の活性化のため、市外からも人を呼び込むための交通(鉄道、道路など)の整備	その他	
合計	1299	1256	2484	367	230	562	238	328	269	456	34	43
	-	100.0%	-	29.2%	18.3%	44.7%	18.9%	26.1%	21.4%	36.3%	2.7%	-



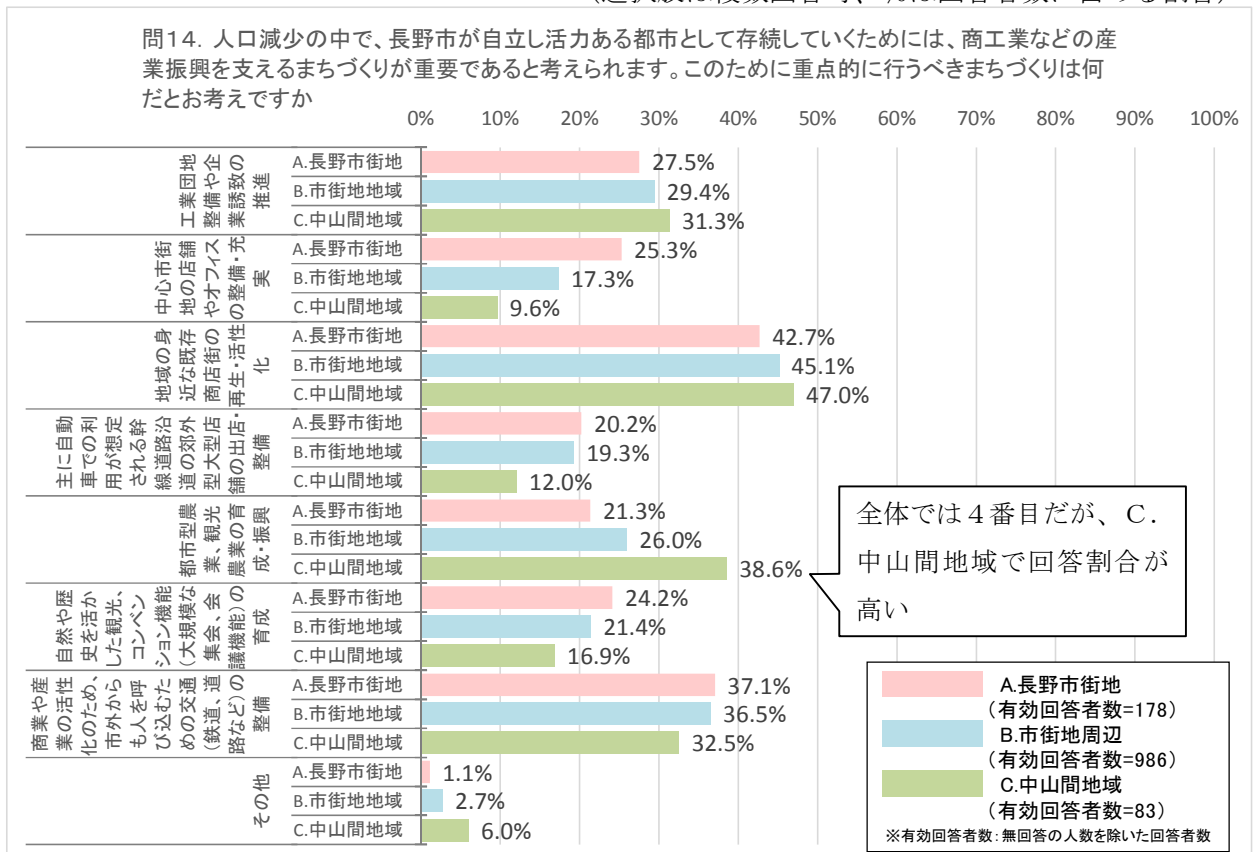
【参考】年齢層別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



【参考】居住地域別結果

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



※居住地区不明及び問14無回答の回答者を除く。

(白紙)

Ⅲ. あなたがお住まいの地域のまちづくりについてお答えください。

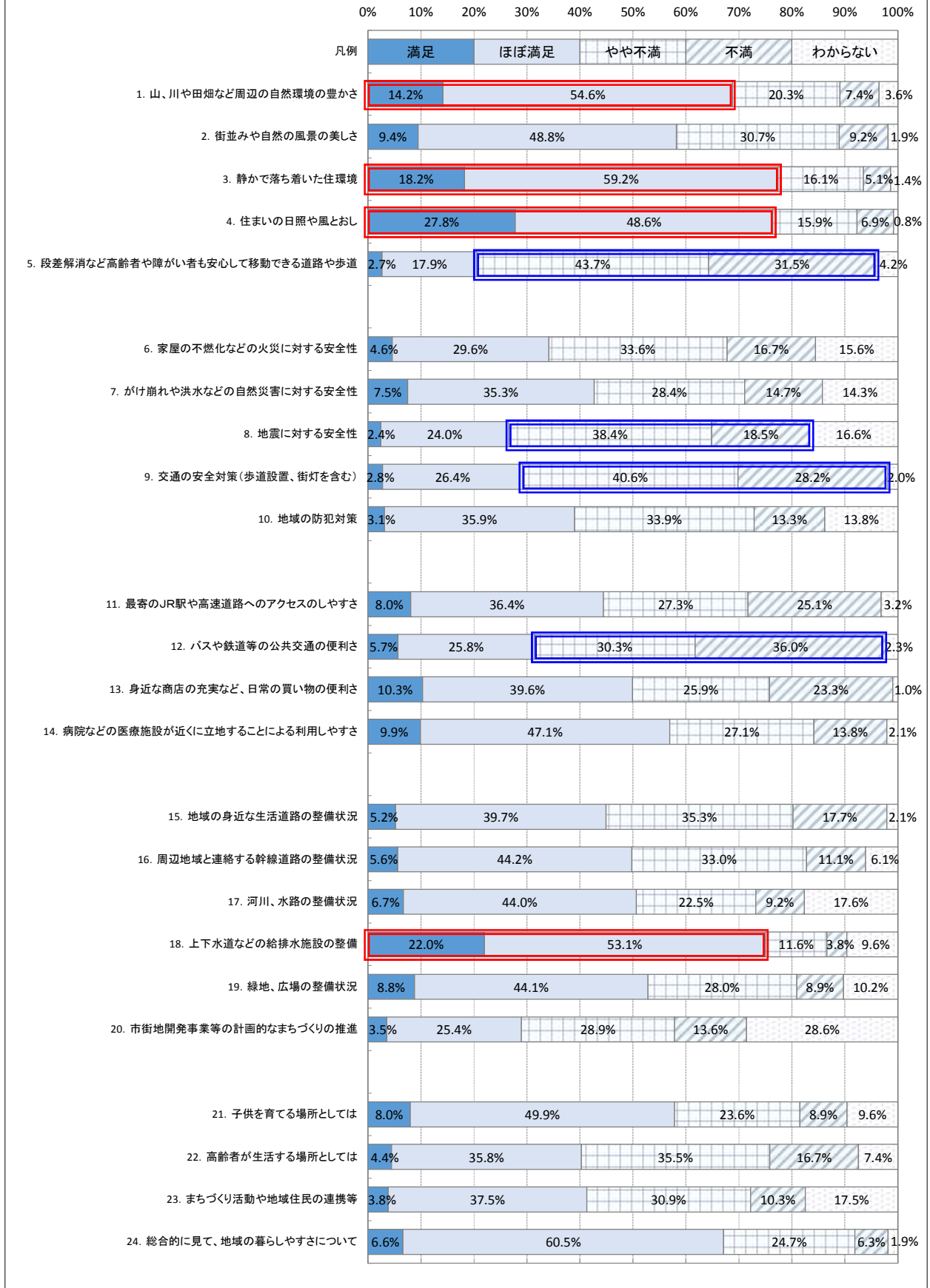
問15. 現在、地域ごとの特性に応じたまちづくりが進められていますが、あなたはどのくらい満足していますか。また、今後まちづくりを進めていくためには、どのようなことが重要だとお考えですか。あなたがお住まいの地域の生活環境について、各設問項目毎に、現在の満足度、今後の整備や改善の重要度について該当する番号に○印をお付けください。

- ・特に満足度の高い（満足、ほぼ満足）具体的項目は、「静かで落ち着いた住環境」（77.4%）、「住まいの日照、風とおし」（76.4%）、「上下水道などの給排水施設の整備」（75.1%）、「山、川や田畑など周辺環境の豊かさ」（68.8%）であった。
- ・逆に不満が高い（不満、やや不満）のは、「段差解消など高齢者や障がい者も安心して移動できる道路や歩道」（75.2%）、「交通の安全対策（歩道設置、街灯を含む）」（68.8%）、「バスや鉄道等の公共交通の便利さ」（66.3%）、「地震に対する安全性」（56.9%）であった。
- ・不満の高い項目は、整備の重要性の高い項目となっており、上記の不満が高い項目の重要性（重要、やや重要）は「段差解消など高齢者や障がい者も安心して移動できる道路や歩道」（94.3%）、「交通の安全対策（歩道設置、街灯を含む）」（95.2%）、「バスや鉄道等の公共交通の便利さ」（90.4%）、「地震に対する安全性」（92.9%）とどの項目も90%を超えている。
- ・満足度は比較的高い（50%超）ものの、重要性の認識も高い（90%超）項目は、「病院などの医療施設が近くに立地することによる利用しやすさ」（満足度：57.0%、重要度：91.6%）であった。

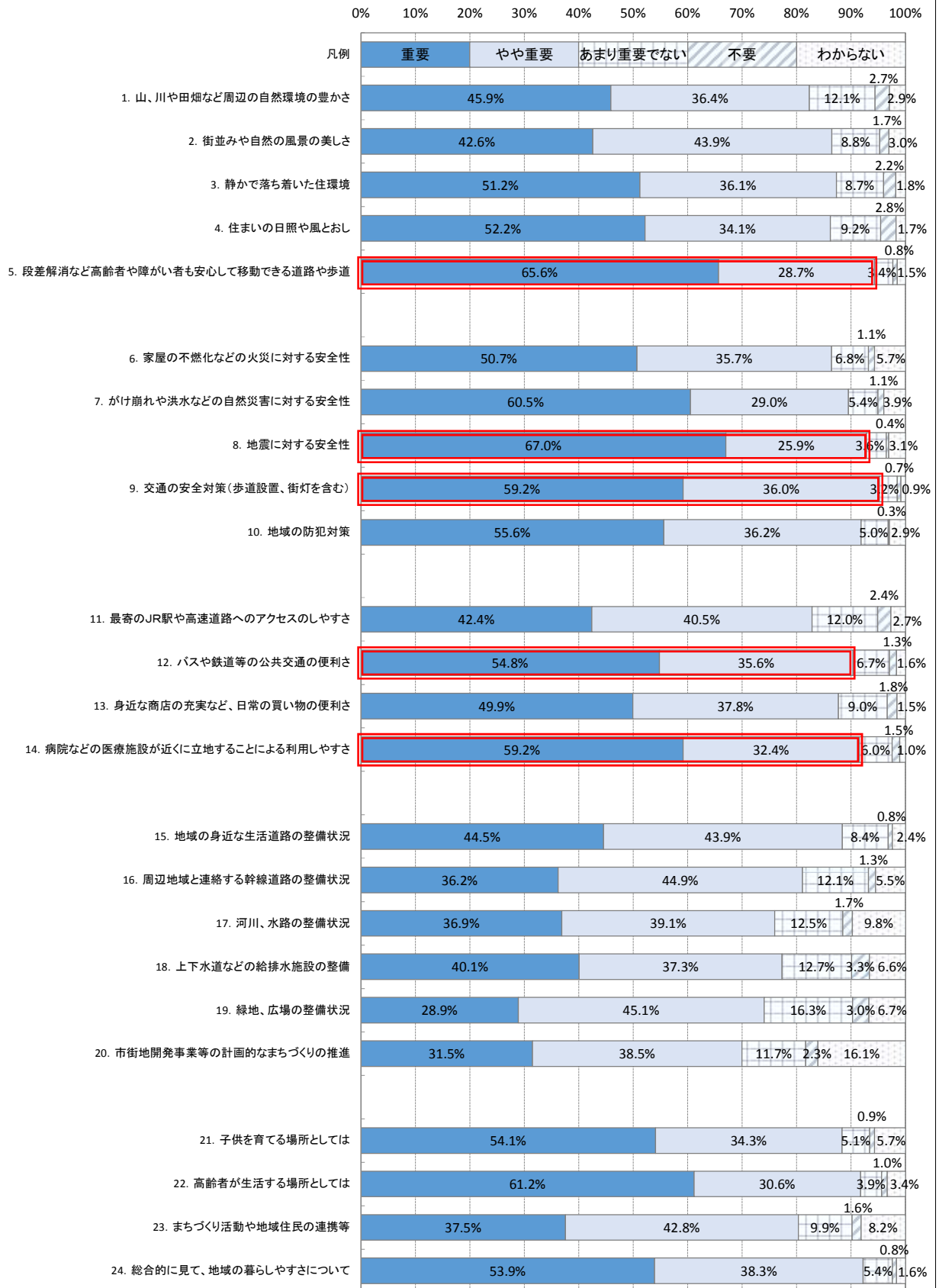
			現在の満足度							無回答
			合計	有効回答数	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	わからない	
快適さ	1	山、川や田畑など周辺の自然環境の豊かさ	1299	1234	175	674	250	91	44	65
			-	100.0%	14.2%	54.6%	20.3%	7.4%	3.6%	-
	2	街並みや自然の風景の美しさ	1299	1220	115	595	375	112	23	79
			-	100.0%	9.4%	48.8%	30.7%	9.2%	1.9%	-
	3	静かで落ち着いた住環境	1299	1234	225	730	199	63	17	65
		-	100.0%	18.2%	59.2%	16.1%	5.1%	1.4%	-	
	4	住まいの日照や風とおし	1299	1230	342	598	195	85	10	69
			-	100.0%	27.8%	48.6%	15.9%	6.9%	0.8%	-
	5	段差解消など高齢者や障がい者も安心して移動できる道路や歩道	1299	1235	33	221	540	389	52	64
			-	100.0%	2.7%	17.9%	43.7%	31.5%	4.2%	-
安全	6	家屋の不燃化などの火災に対する安全性	1299	1228	56	363	413	205	191	71
			-	100.0%	4.6%	29.6%	33.6%	16.7%	15.6%	-
	7	がけ崩れや洪水などの自然災害に対する安全性	1299	1234	92	435	350	181	176	65
			-	100.0%	7.5%	35.3%	28.4%	14.7%	14.3%	-
	8	地震に対する安全性	1299	1227	30	295	471	227	204	72
		-	100.0%	2.4%	24.0%	38.4%	18.5%	16.6%	-	
	9	交通の安全対策(歩道設置、街灯を含む)	1299	1229	34	325	499	347	24	70
			-	100.0%	2.8%	26.4%	40.6%	28.2%	2.0%	-
	10	地域の防犯対策	1299	1224	38	439	415	163	169	75
			-	100.0%	3.1%	35.9%	33.9%	13.3%	13.8%	-
便利	11	最寄のJR駅や高速道路へのアクセスのしやすさ	1299	1231	99	448	336	309	39	68
			-	100.0%	8.0%	36.4%	27.3%	25.1%	3.2%	-
	12	バスや鉄道等の公共交通の利便さ	1299	1234	70	318	374	444	28	65
			-	100.0%	5.7%	25.8%	30.3%	36.0%	2.3%	-
	13	身近な商店の充実など、日常の買い物利便さ	1299	1234	127	489	319	287	12	65
			-	100.0%	10.3%	39.6%	25.9%	23.3%	1.0%	-
	14	病院などの医療施設が近くに立地することによる利用しやすさ	1299	1234	122	581	335	170	26	65
			-	100.0%	9.9%	47.1%	27.1%	13.8%	2.1%	-
公共施設	15	地域の身近な生活道路の整備状況	1299	1229	64	488	434	217	26	70
			-	100.0%	5.2%	39.7%	35.3%	17.7%	2.1%	-
	16	周辺地域と連絡する幹線道路の整備状況	1299	1229	69	543	405	137	75	70
			-	100.0%	5.6%	44.2%	33.0%	11.1%	6.1%	-
	17	河川、水路の整備状況	1299	1230	82	541	277	113	217	69
			-	100.0%	6.7%	44.0%	22.5%	9.2%	17.6%	-
	18	上下水道などの給排水施設の整備	1299	1225	269	650	142	46	118	74
			-	100.0%	22.0%	53.1%	11.6%	3.8%	9.6%	-
	19	緑地、広場の整備状況	1299	1230	108	542	345	109	126	69
			-	100.0%	8.8%	44.1%	28.0%	8.9%	10.2%	-
	20	市街地開発事業等の計画的なまちづくりの推進	1299	1215	43	309	351	165	347	84
			-	100.0%	3.5%	25.4%	28.9%	13.6%	28.6%	-
地域社会	21	子供を育てる場所としては	1299	1227	98	612	290	109	118	72
			-	100.0%	8.0%	49.9%	23.6%	8.9%	9.6%	-
	22	高齢者が生活する場所としては	1299	1236	55	443	439	207	92	63
			-	100.0%	4.4%	35.8%	35.5%	16.7%	7.4%	-
	23	まちづくり活動や地域住民の連携等	1299	1230	47	461	380	127	215	69
			-	100.0%	3.8%	37.5%	30.9%	10.3%	17.5%	-
	24	総合的に見て、地域の暮らしやすさについて	1299	1241	82	751	307	78	23	58
			-	100.0%	6.6%	60.5%	24.7%	6.3%	1.9%	-

		今後の重要度								
		合計	有効 回答 数	重要	やや 重要	あまり 重要で ない	不要	わから ない	無回 答	
快適さ	1	山、川や田畑など周辺の自然環境の豊かさ	1299	1166	535	425	141	31	34	133
			-	100.0%	45.9%	36.4%	12.1%	2.7%	2.9%	-
	2	街並みや自然の風景の美しさ	1299	1160	494	509	102	20	35	139
			-	100.0%	42.6%	43.9%	8.8%	1.7%	3.0%	-
	3	静かで落ち着いた住環境	1299	1165	597	420	101	26	21	134
		-	100.0%	51.2%	36.1%	8.7%	2.2%	1.8%	-	
	4	住まいの日照や風とおし	1299	1160	605	395	107	33	20	139
			-	100.0%	52.2%	34.1%	9.2%	2.8%	1.7%	-
	5	段差解消など高齢者や障がい者も安心して移動できる道路や歩道	1299	1176	772	337	40	9	18	123
			-	100.0%	65.6%	28.7%	3.4%	0.8%	1.5%	-
安全	6	家屋の不燃化などの火災に対する安全性	1299	1164	590	416	79	13	66	135
			-	100.0%	50.7%	35.7%	6.8%	1.1%	5.7%	-
	7	がけ崩れや洪水などの自然災害に対する安全性	1299	1165	705	338	63	13	46	134
			-	100.0%	60.5%	29.0%	5.4%	1.1%	3.9%	-
	8	地震に対する安全性	1299	1164	780	301	42	5	36	135
			-	100.0%	67.0%	25.9%	3.6%	0.4%	3.1%	-
	9	交通の安全対策(歩道設置、街灯を含む)	1299	1171	693	422	38	8	10	128
			-	100.0%	59.2%	36.0%	3.2%	0.7%	0.9%	-
	10	地域の防犯対策	1299	1167	649	423	58	3	34	132
			-	100.0%	55.6%	36.2%	5.0%	0.3%	2.9%	-
便利	11	最寄のJR駅や高速道路へのアクセスのしやすさ	1299	1156	490	468	139	28	31	143
			-	100.0%	42.4%	40.5%	12.0%	2.4%	2.7%	-
	12	バスや鉄道等の公共交通の便利さ	1299	1166	639	415	78	15	19	133
			-	100.0%	54.8%	35.6%	6.7%	1.3%	1.6%	-
	13	身近な商店の充実など、日常の買い物の便利さ	1299	1162	580	439	104	21	18	137
			-	100.0%	49.9%	37.8%	9.0%	1.8%	1.5%	-
	14	病院などの医療施設が近くに立地することによる利用しやすさ	1299	1168	691	378	70	17	12	131
			-	100.0%	59.2%	32.4%	6.0%	1.5%	1.0%	-
公共施設	15	地域の身近な生活道路の整備状況	1299	1165	519	511	98	9	28	134
			-	100.0%	44.5%	43.9%	8.4%	0.8%	2.4%	-
	16	周辺地域と連絡する幹線道路の整備状況	1299	1165	422	523	141	15	64	134
			-	100.0%	36.2%	44.9%	12.1%	1.3%	5.5%	-
	17	河川、水路の整備状況	1299	1165	430	455	146	20	114	134
			-	100.0%	36.9%	39.1%	12.5%	1.7%	9.8%	-
	18	上下水道などの給排水施設の整備	1299	1161	465	433	148	38	77	138
			-	100.0%	40.1%	37.3%	12.7%	3.3%	6.6%	-
	19	緑地、広場の整備状況	1299	1163	336	525	189	35	78	136
			-	100.0%	28.9%	45.1%	16.3%	3.0%	6.7%	-
	20	市街地開発事業等の計画的なまちづくりの推進	1299	1152	363	443	135	26	185	147
			-	100.0%	31.5%	38.5%	11.7%	2.3%	16.1%	-
地域社会	21	子供を育てる場所としては	1299	1161	628	398	59	10	66	138
			-	100.0%	54.1%	34.3%	5.1%	0.9%	5.7%	-
	22	高齢者が生活する場所としては	1299	1164	712	356	45	12	39	135
			-	100.0%	61.2%	30.6%	3.9%	1.0%	3.4%	-
	23	まちづくり活動や地域住民の連携等	1299	1164	437	498	115	19	95	135
			-	100.0%	37.5%	42.8%	9.9%	1.6%	8.2%	-
	24	総合的に見て、地域の暮らしやすさについて	1299	1168	630	447	63	9	19	131
			-	100.0%	53.9%	38.3%	5.4%	0.8%	1.6%	-

現在の満足度



今後の重要度

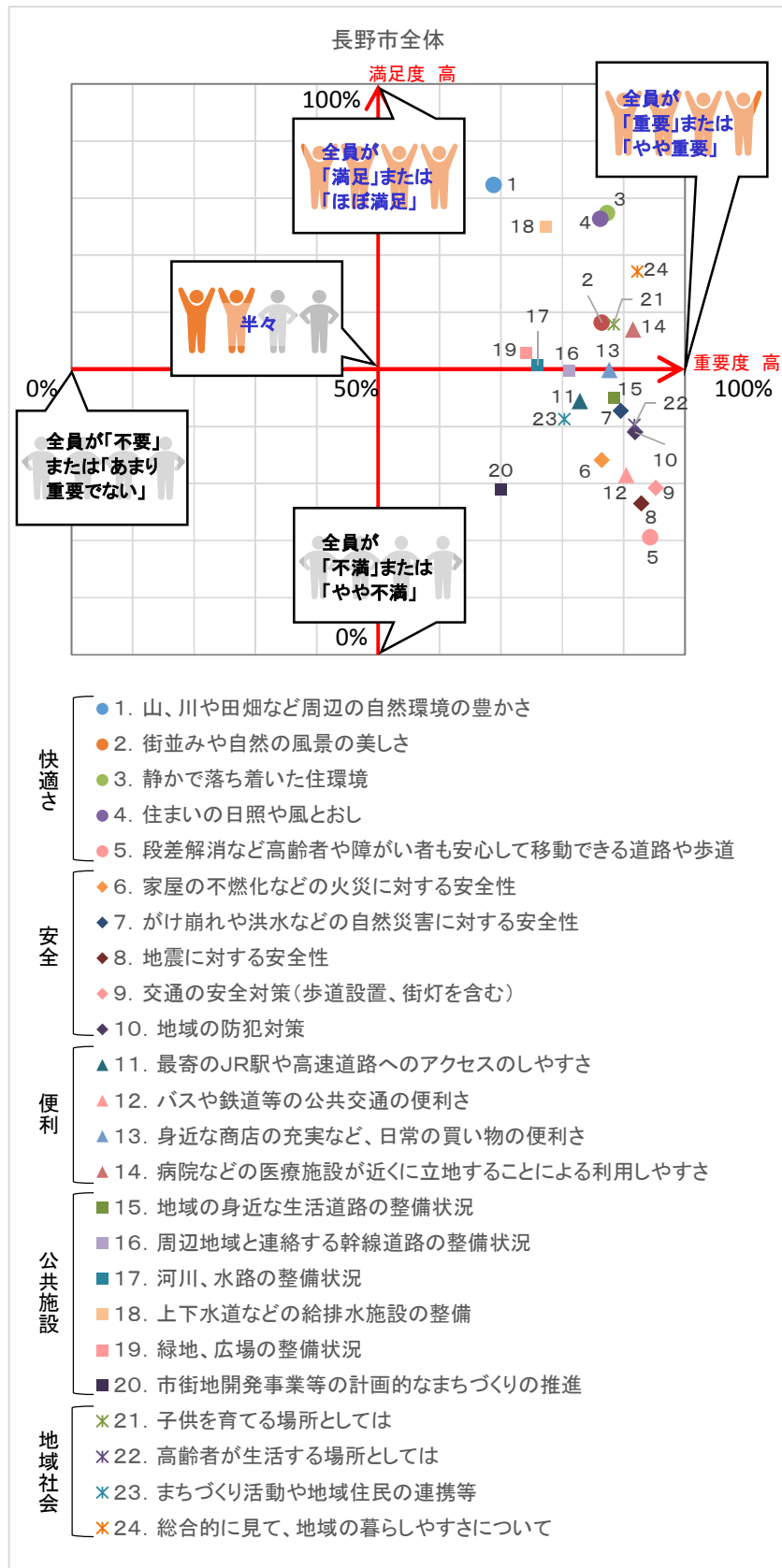


【参考】満足度・重要度評価

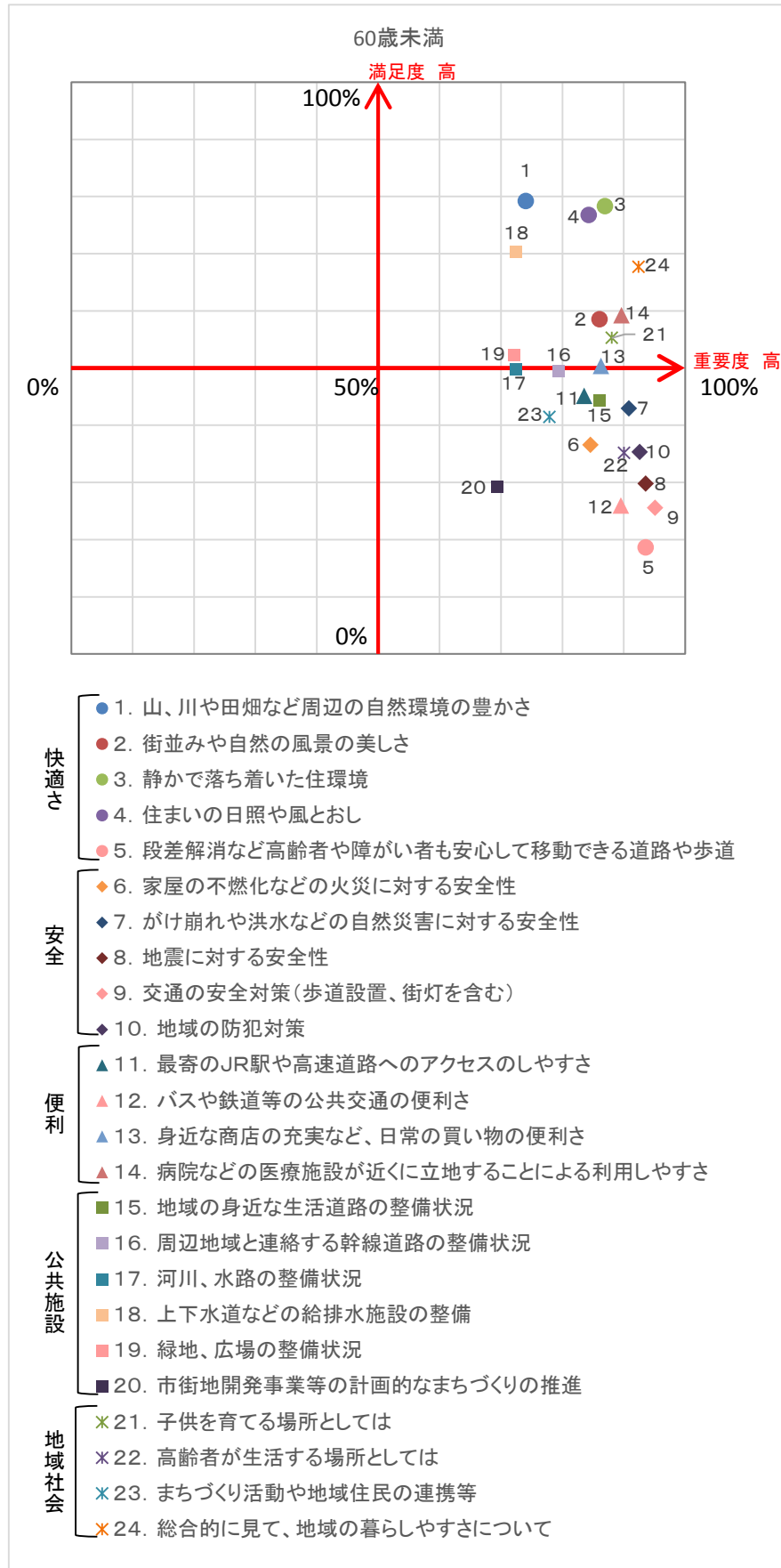
満足度 = (「満足」または「ほぼ満足」と回答した人数) / 全体の人数

重要度 = (「重要」または「やや重要」と回答した人数) / 全体の人数

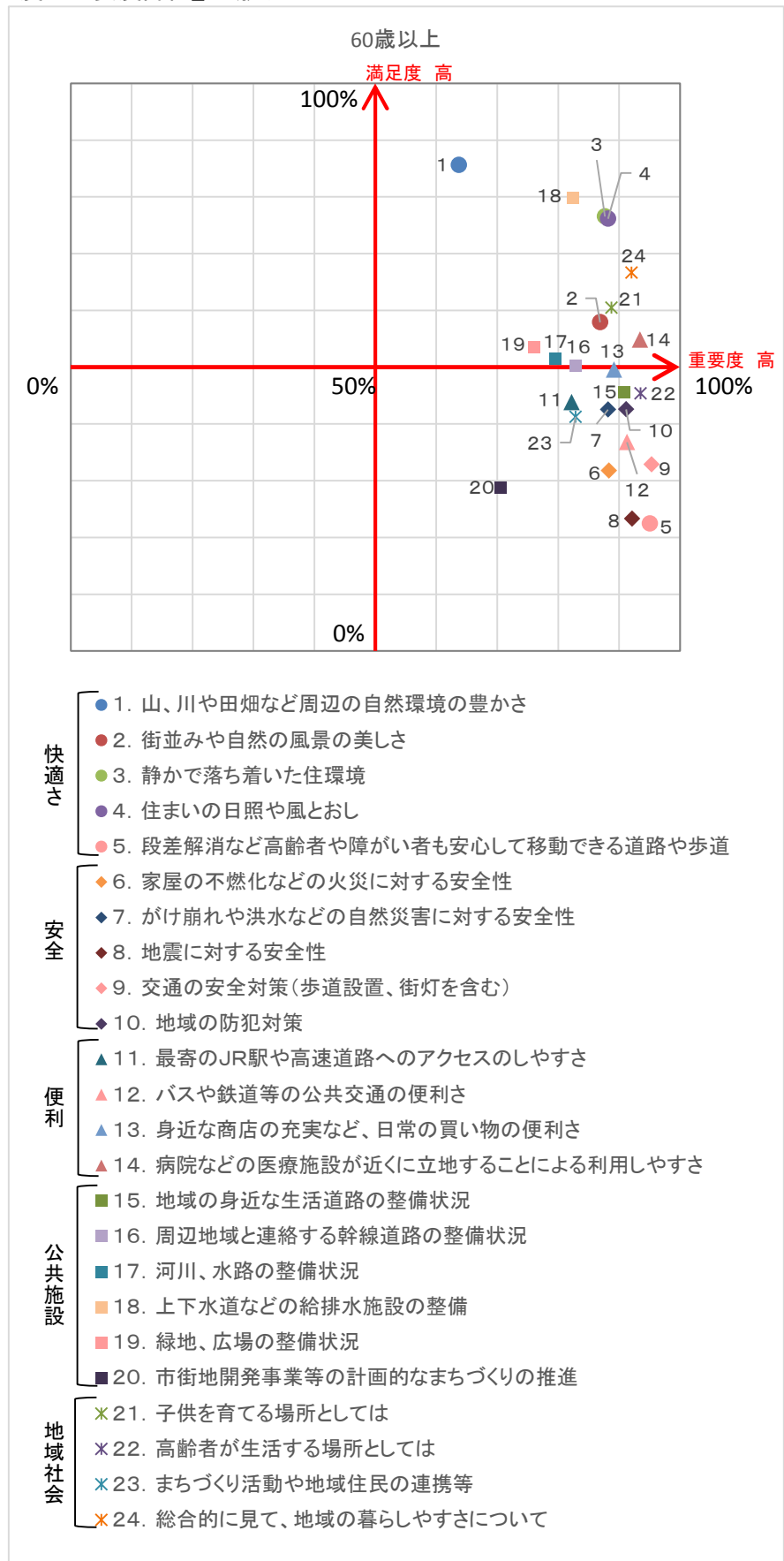
①市全体



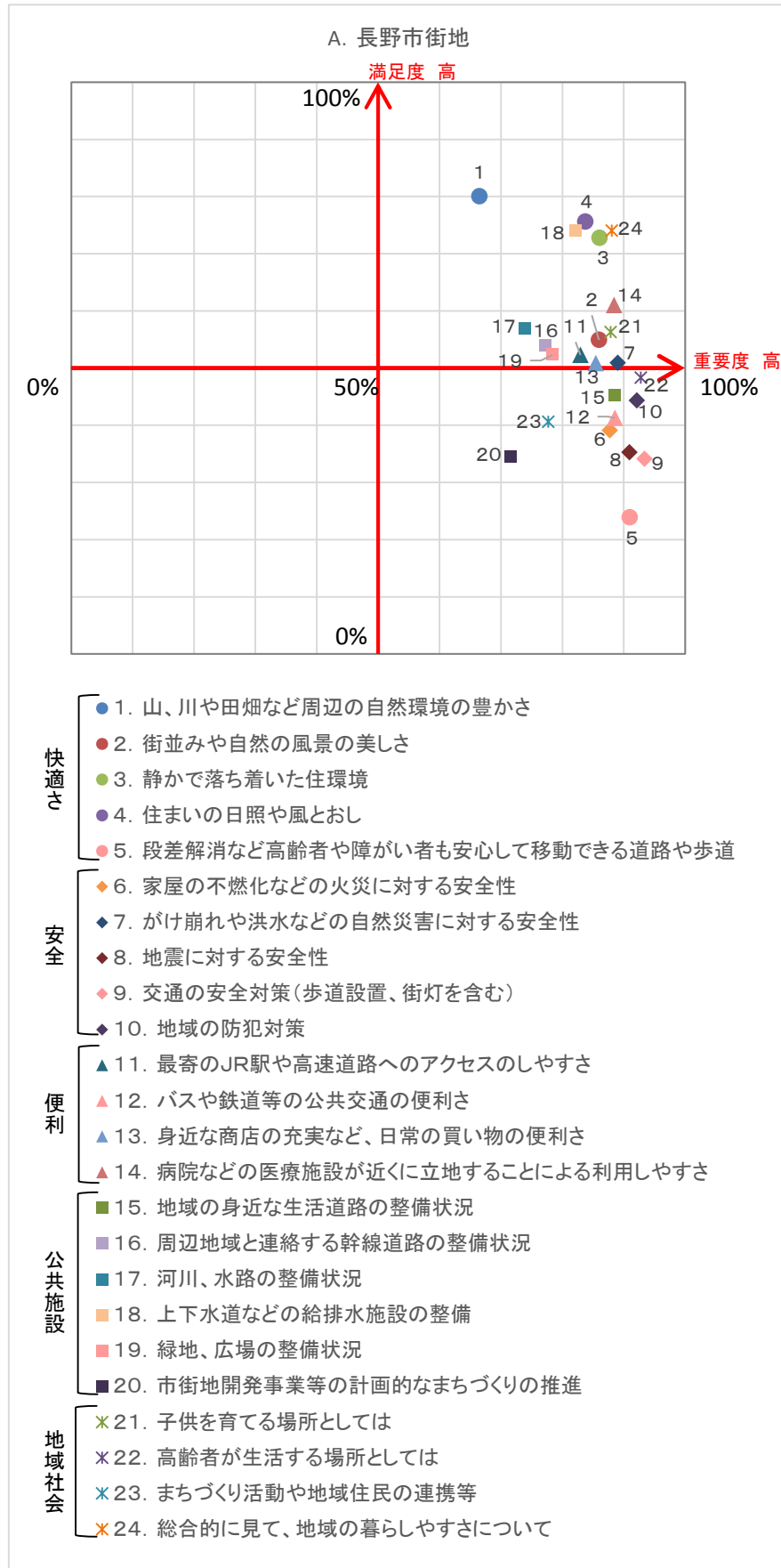
②年齢層別満足度・重要度評価_20歳以上60歳未満



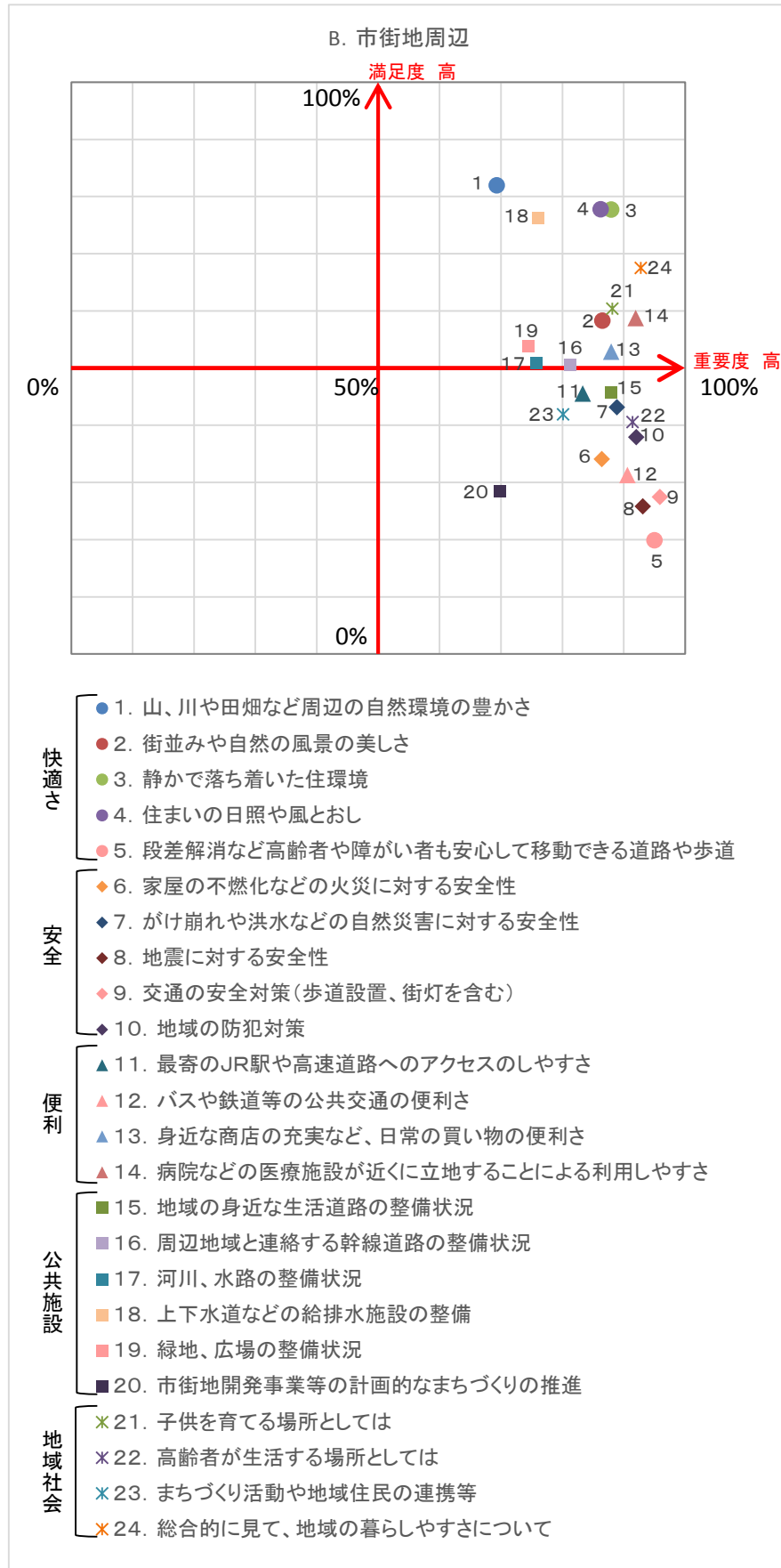
③年齢層別満足度・重要度評価_60歳以上



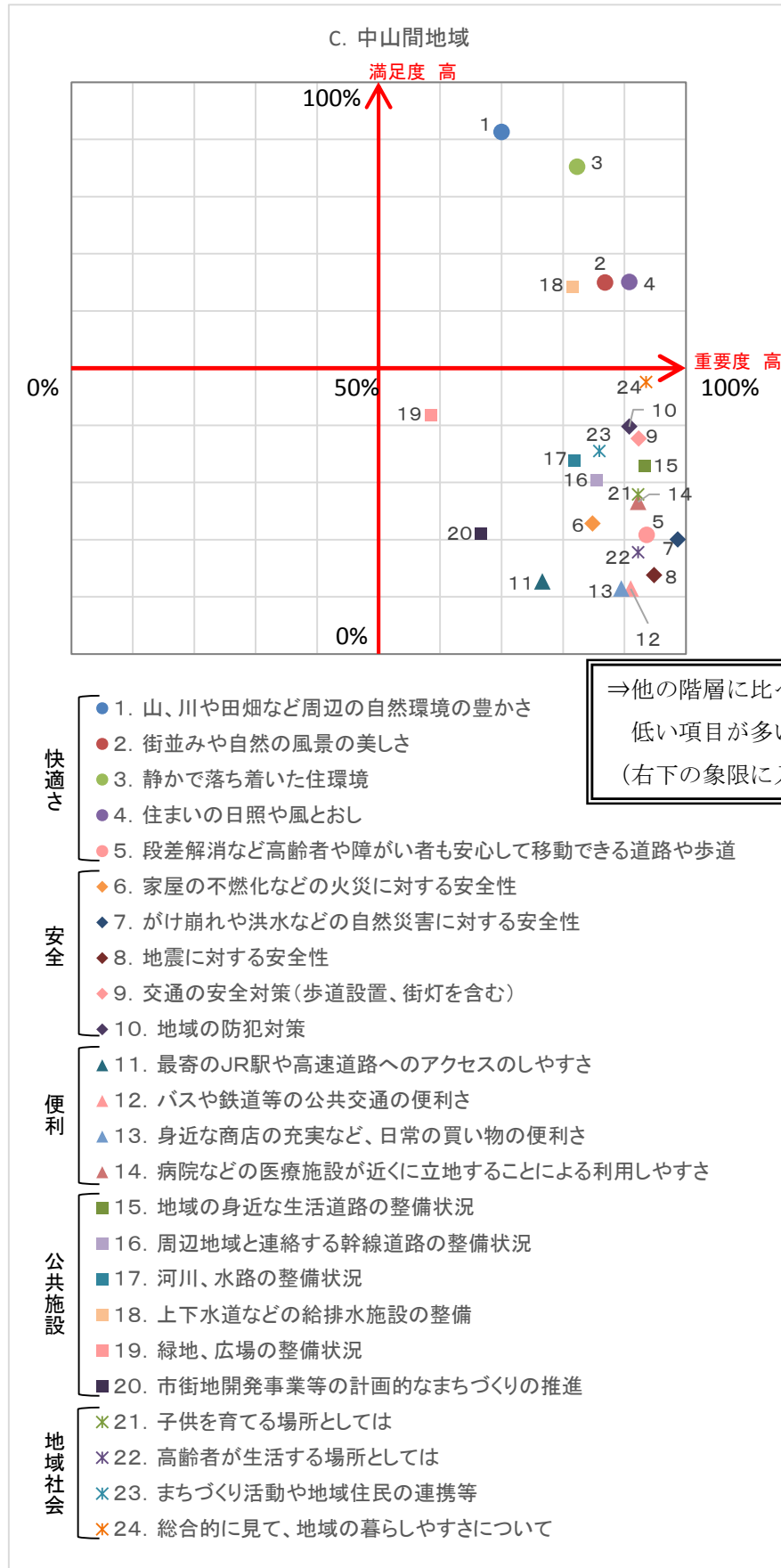
④居住地域別満足度・重要度評価_長野市街地



⑤居住地域別満足度・重要度評価_市街地周辺



⑤居住地域別満足度・重要度評価_中山間地域

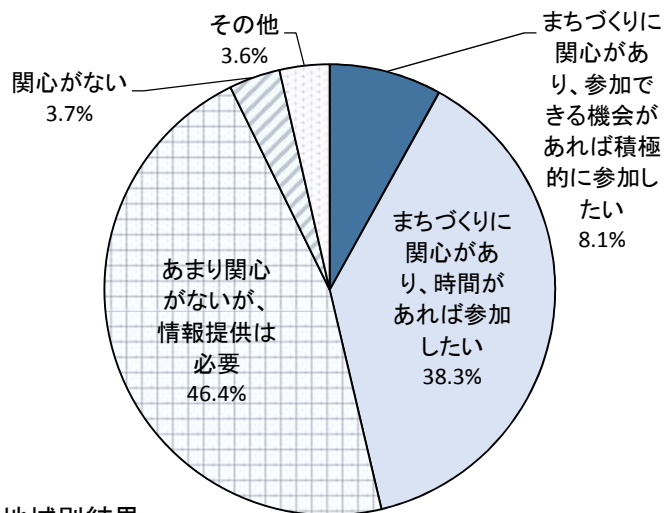


IV. まちづくりの参加についてお答えください。

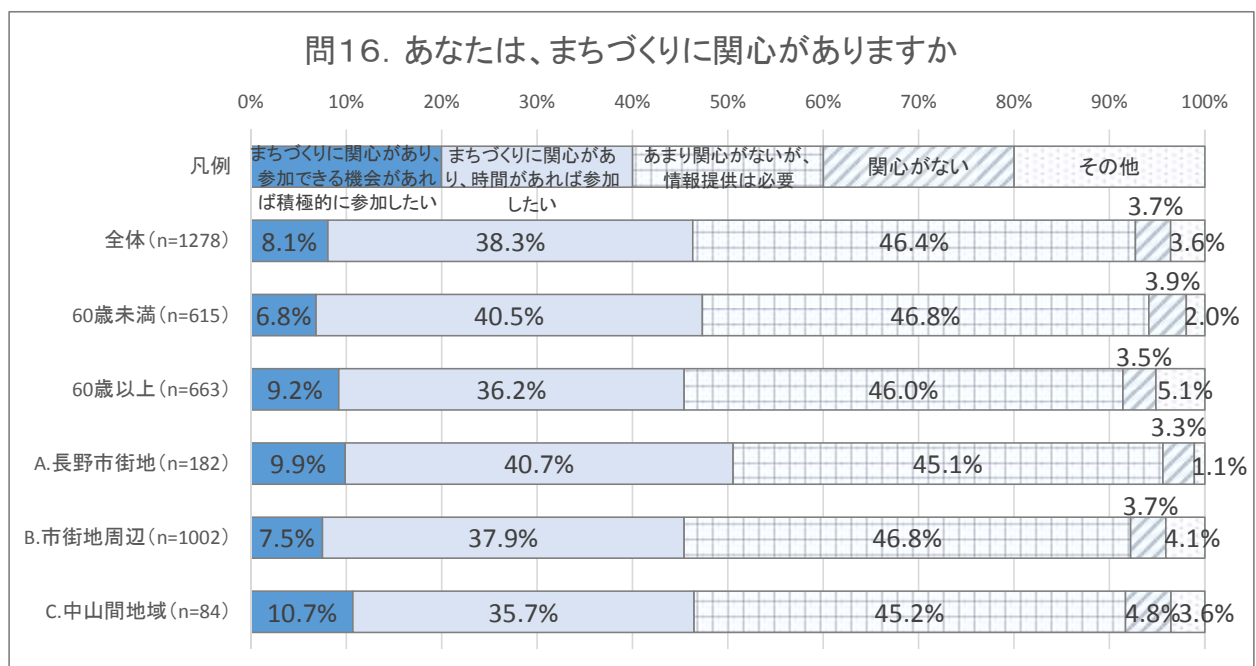
問16. あなたは、まちづくりに関心がありますか。次の中から1つお選びください。

まちづくりへの関心については、「あまり関心がないが、情報提供は必要」(46.4%)が最も多い。次に、「関心があり、時間があれば参加したい」(38.3%)と続いている。「機会があれば積極的に参加したい」は8.1%となっている。

	合計	有効回答数	1	2	3	4	5	無回答
			積極的に関心があり、参加したい	まちづくりに関心があり、時間があれば参加したい	あまり関心がないが、情報提供は必要	関心がない	その他	
合計	1299	1278	103	489	593	47	46	21
	-	100.0%	8.1%	38.3%	46.4%	3.7%	3.6%	-



【参考】年齢層別・居住地域別結果



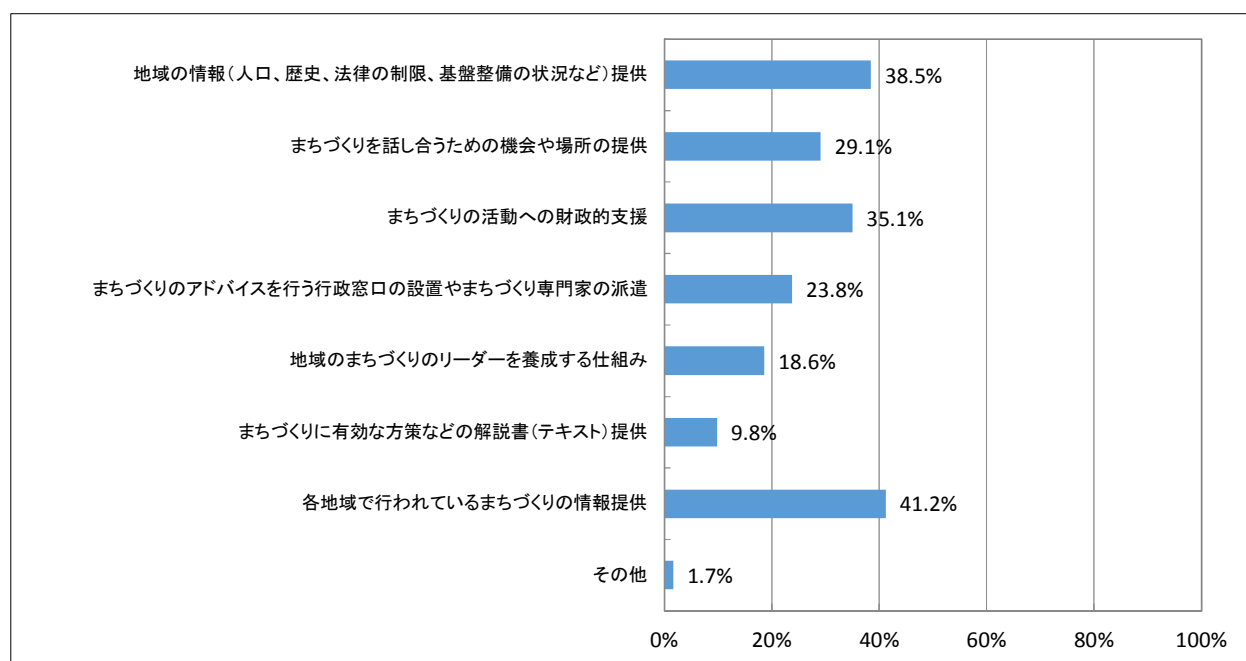
※居住地区不明の回答がある為、各地域を合計した回答数と全体の有効回答数は異なる。

問17. まちづくりは、多くの住民の参加により、地域と行政が一緒になって進めていくことが重要です。このために重点的に行っていくべきものは何だとお考えですか。次の中から2つお選びください。

協働のまちづくりのために重点的に行っていくべきものについては、「各地域のまちづくりの情報提供」(41.2%)が最も多い。次に、「地域の情報提供」(38.5%)、「まちづくり活動への財政的支援」(35.1%)と続いている。

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)

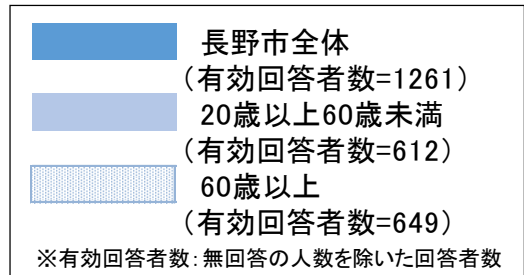
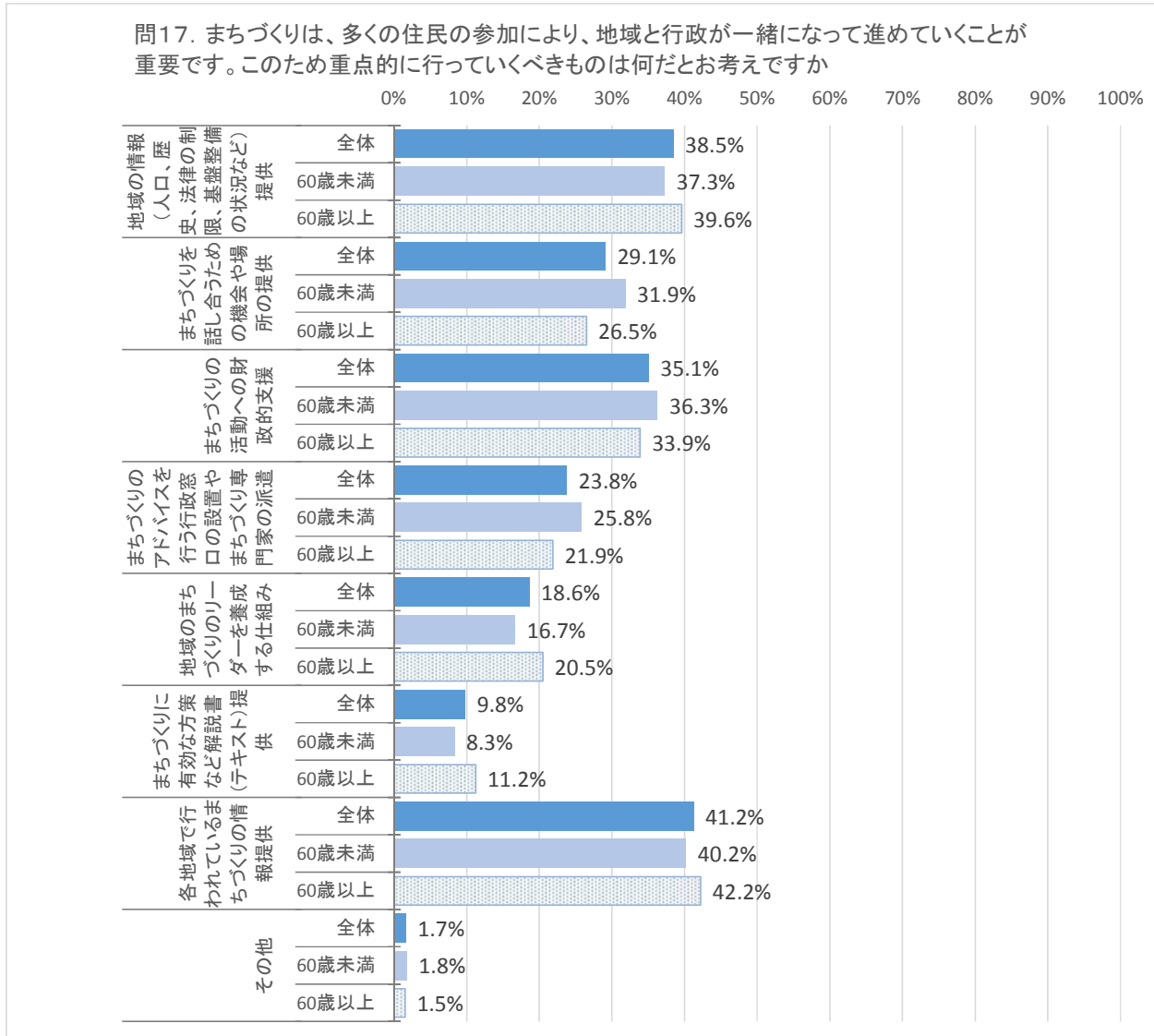
	合計	有効回答者数	有効回答数	1	2	3	4	5	6	7	8	無回答
				盤地域の整備状況(人口、歴史、法律の制限、基)	提供まちづくりを話し合うための機会や場所の	まちづくりの活動への財政的支援	設置やまちづくりのアドバイザーを行う行政窓口の	組み地域のまちづくりのリーダーを養成する仕	キスト)提供まちづくりに有効な方策などの解説書(テ	供各地域で行われているまちづくりの情報提	その他	
合計	1299	1261	2494	485	367	442	300	235	124	520	21	38
	-	100.0%	-	38.5%	29.1%	35.1%	23.8%	18.6%	9.8%	41.2%	1.7%	-



【参考】年齢層別結果

上位項目は市全体と同様の傾向にある。

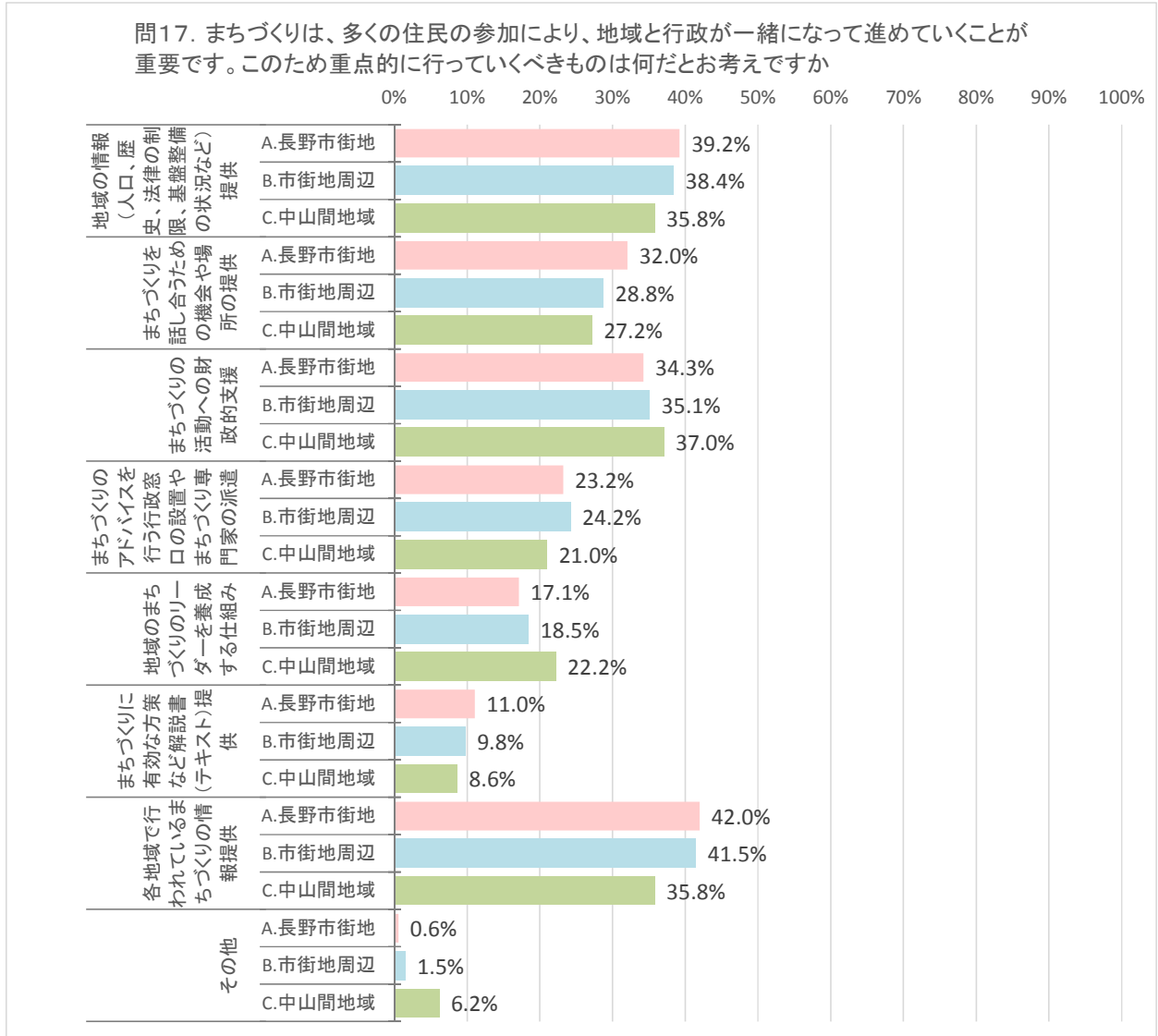
(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



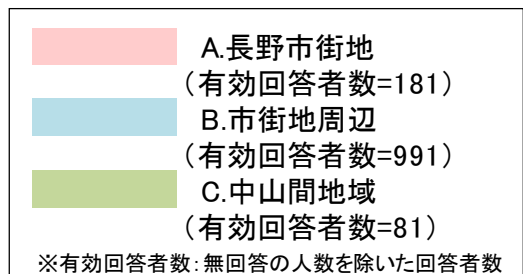
【参考】居住地域別結果

上位項目は市全体や年齢層別と同様の傾向にある。

(選択肢は複数回答可、%は回答者数に占める割合)



※居住地区不明及び問17無回答の回答者を除く。



5 部門別実現化方策の実施に向けたスケジュール

以下のようなスケジュールで都市づくりの実現に向けて取り組みます。

なお、施策のなかには、継続的な取り組みが求められるものや、一定の事業期間で整備が完了するものなど、取り組み方法が異なることから、それらの概念を「着手」「継続」として示しています。

主な施策		着手		継続
		短期 (5年)	長期 (10年)	
土地 利用	区域区分（いわゆる線引き）による計画的な規制・誘導	○		○
	市街化調整区域の保全と活用の方針の検討		○	
	立地適正化計画を定め、市街化区域内の公共交通が便利なエリアへ生活サービス施設等の諸機能や居住を誘導	○		
	長野駅周辺第二地区、水沢上庭地区の各土地区画整理事業による良好な市街地の整備	○		
	市街地再開発事業や優良建築物等整備事業などによる既存市街地の更新			○
	立地適正化計画に位置づけた都市機能誘導機能の立地促進	○		
	中心市街地活性化基本計画の施策の実施	○		
	南石堂町 A-1 地区優良建築物等整備事業	○		
	権堂再生計画にもとづく権堂地区の再生		○	
	大規模集客施設の立地を制限する特別用途地区による規制	○		○
	街並み誘導型の地区計画の導入等、都市計画諸制度の活用	○		○
	地区計画や高度地区等の活用による地区特性に応じた建物誘導	○		○
	まちなかでの良好な住宅ストックの建設に対する支援や、空きビルなどの既存ストックの住宅への転用支援策の検討		○	
	民間住宅を借り上げた公営住宅などによるまちなか居住の推進		○	
	大規模住宅団地における日用品販売店の立地を可能とする用途規制の見直し	○		○
	空き家バンクの充実による活用促進や住み替えへの助成制度の検討		○	
	住宅ストックの流動化のため定期借地制度などの活用推進	○		
	にぎわいを創造する空き家などのリノベーションへの支援の検討	○		
	低・未利用地や公的不動産を有効に活用した生活サービス施設等の立地誘導	○		
	地域の街づくりのルール（地区計画等）の策定など、住民主体のまちづくり活動への支援の推進	○		○
田園集落や中山間地域での生活やコミュニティを維持するため「小さな拠点」の取組みの検討	○		○	
優良農地を保全するとともに、体験型農業や6次産業化など農業の振興に必要な施設の立地が可能な土地利用の検討	○		○	

都市農地の活用に向けた仕組みづくりの検討		○	○
地域特性（高速道路への良好なアクセス性など）を活かした産業用地の整備		○	
地域資源（自然資源や農業生産物など）を活かした産業立地に対応する土地利用の検討		○	○
ごみ処理施設の整備	○		
下水道施設の適正な管理と計画的な改築更新	○		○
公共下水道や合併浄化槽の整備	○		
千曲川・岡田川の計画的な整備	○		

主な施策		着手		継続
		短期 (5年)	長期 (10年)	
道路・交通施設整備	都市計画道路の整備 (北部幹線、東外環状線、高田若槻線、真田線、上田篠ノ井線)	○		
	都市計画道路の整備 (県庁緑町線、中央通り、山王小柴見線、東豊線、川中島幹線、豊野北線、長野菅平線)	○		
	市道の整備(三才若槻北部線、古牧朝陽線)	○		
	自転車道ネットワークの整備		○	
	駅前広場等の整備		○	
	駅やバス停のバリアフリー化の推進	○		
	生活道路の拡幅改良等の整備	○		
	市道における安全で快適な歩道や自転車走行環境の整備	○		
	長野市都市計画道路の見直し案の検討	○		○
	都市計画道路の路線の変更	○		○
	パークアンドレールライド駐車場の整備		○	
	駐車場共通券の導入の支援	○		
	鉄道駅周辺への駐輪場の整備	○		
	コミュニティサイクルやレンタサイクルの導入の検討		○	
	地域内循環コミュニティバスの充実(新規路線の導入検討)	○		
	デマンドタクシーの充実	○		
	公共交通優先システム(PTPS)	○		
	バスロケーションシステム(運行情報の提供)の導入	○		
	中央通り（新田町交差点以南）歩行者優先道路化の推進の検討	○		
	街なみ環境整備事業による道路空間の高質化	○		○

主な施策		着手		継続
		短期 (5年)	長期 (10年)	
自然環境の保全と都市環境整備	緑の拠点を結ぶ帯状の幹線道路の沿道緑化により緑のネットワークの形成	○		○
	河川本来の生物多様性や自然景観に配慮した河川整備(千曲川や犀川、裾花川等)	○		
	貴重な自然を残す重要な山林について、風致地区等の指定を検討		○	○
	市街地における公園の整備(南向公園、弁天公園)	○		
	既設公園の再整備(城山公園、八幡原の史跡公園)	○		
	茶臼山動物園の再整備	○		
	茶臼山自然植物園(植物園・恐竜公園)の再整備	○		
	市民参加や地域住民との連携による公園や街路樹などの維持管理の推進	○		○
	中小河川、用水での開渠化などの水辺環境の保全・復元と生態系の豊かな親水空間の整備		○	○
	事業所等の敷地緑化の促進	○		○
	生産緑地制度の活用など都市農地の活用に向けた仕組みの検討		○	○
	保存樹木、樹林の指定や管理補助金の交付、「ながの花と緑大賞」や保存樹マップ・パンフレットの作成による啓発活動の推進	○		○
	自然や農林地を活かした体験や市民農園の利用促進	○		○
	地域間を結ぶ幹線道路の整備	○		
	ごみ処理施設や最終処分場などの計画的な整備、老朽化施設の更新・改修	○		
	産業廃棄物処理施設の適正配置	○		
	下水道施設の適正な管理と計画的な改築更新(再掲)	○		○
	合併処理浄化槽の整備(再掲)	○		
公共施設について積極的な ESCO 事業の導入や省エネ改修の推進	○			
地域内循環コミュニティバスなどや、交通需要マネジメントの導入の検討(再掲)	○			

主な施策		着手		継続
		短期 (5年)	長期 (10年)	
都市 景 観 整 備	景観法に基づく景観計画と条例の見直し	○		○
	地域の景観特性に応じた景観形成及び整備基準に基づく規制誘導		○	○
	景観地区などの指定と地区計画や高度地区による高さ規制などの検討(善光寺周辺、戸隠、松代など)		○	○
	景観重要建築物や景観重要樹木の指定の推進		○	○
	景観賞や景観賞表彰作品めぐりの実施と景観形成市民団体の育成	○		○
	中高層建築物の建築に係る紛争の防止及び調整	○		○
	戸隠地区の重要伝統的建造物群保存地区における歴史的景観の形成の推進	○		○
	歴史的風致維持向上計画による建造物の保存修理、道路の美化・無電柱化	○		
	千曲川、犀川、裾花川等での国や県との連携・協力による親しみが持てる水辺空間の創出	○		
	特別地区(屋外広告物の規制強化または緩和地区)による誘導	○		○
	景観地区、準景観地区、地区計画、景観協定などの締結の促進	○		○
	善光寺周辺地域での伝統的建造物群保存地区の指定の検討	○		
	戸隠地区の重要伝統的建造物群保存地区における歴史的景観の形成の推進(再掲)	○		
	歴史的風致維持向上計画による文化財の保存修理、道路の美化・無電柱化(再掲)	○		
	長野市緑を豊かにする計画に基づく総合的な公園、街路樹、緑道、緑地整備の促進	○		○
都市計画道路の整備(山王小柴見線)	○			
善光寺周辺市道の電線類地中化・道路美化整備	○			
中央通り(新田町交差点以南)歩行者優先道路(善光寺表参道ふれ愛通り)の検討	○			

主な施策		着手		継続
		短期 (5年)	長期 (10年)	
防 災 都 市 づ く り	自主防災会の一層の活性化を図るため、連絡協議会の結成の促進と地区内の相互協力体制の強化	○		○
	備蓄倉庫等の整備、防災無線の強化と無線通信に関する関係者や近隣市町村との連携の強化	○		○
	洪水ハザードマップなどを活用した情報提供の推進	○		○
	広域避難場所及び避難場所の適正な追加指定・整備（公園の防災機能の強化）	○		
	街路事業等による広幅員道路の確保による安全な避難路の整備	○		
	3次医療機関や避難所等の重要施設へのライフラインの重点的な耐震化の推進	○		○
	延焼遮断帯としての幹線道路や防災緑地等の整備	○		
	適切な森林の管理による治山機能の維持		○	○
	千曲川・犀川の堤防の整備	○		○
	排水路や中小河川の整備・改修の推進と雨水調整池やポンプ場の整備		○	
	木造建築物が密集する地区での建物の不燃化の促進	○		○
	緊急輸送道路など災害時に通行を確保すべき道路沿いの建築物の耐震化の促進	○		○

6 「長野市都市計画マスタープラン（素案）」に対する意見募集（パブリックコメント）等の結果

◆実施概要

1. 募集期間：平成 29 年 1 月 11 日～ 1 月 31 日

2. 周知方法：(1) 長野市ホームページに掲載
(2) 広報ながの 1 月号に掲載
(3) 市役所都市計画課、行政資料コーナー、各支所での閲覧
(4) 新聞報道等

3. 集計結果：

(1) 受理件数 7 件（6 人）

(2) 提出方法の内訳

直接提出	郵送	ファクシミリ	電子メール	電子申請	合計
1 通	0 通	1 通	2 通	2 通	6 通

(3) 意見に対する市の考え方

A：意見等により素案を修正・追加する	0 件
B：素案に盛り込まれており修正しない	3 件
C：素案は修正しないが今後の取り組みにおいて検討又は参考とする	0 件
D：検討の結果素案に反映しない	2 件
E：その他（質問への回答、状況説明）	2 件

(4) 意見等の内容

意見等に対する長野市の考え方と計画への反映状況等は、次頁のとおり

番号	意見・提案等の概要	市の考え方	区分
1	<p>大豆島地区と高田地区を南北に連絡する道路網を整備するため、都市計画道路長野菅平線（3・4・13）と高田若槻線（3・4・36）を連絡する新たな都市計画道路を計画してほしいです。</p>	<p>都市計画道路は、実態調査などを基に、予測される将来の交通需要に対し、都市全体が効率的な道路網となるよう見直しを行っています。</p> <p>特に新規の道路計画については、まちづくりの観点から、将来交通量の推計をもとに、必要性、緊急性、実現性等の評価・検証が必要であることから、まずは、現況道路や既決の都市計画道路による代替機能の確保を検討すべきと考えます。</p>	E
2	<p>渋滞の緩和や観光の目玉として、善光寺平の山際を一周（約80km）するようなルートの環状モノレールを計画してはどうですか。同時にサイクリングロードを整備して、「高原都市長野」をアピールすることが重要です。</p>	<p>渋滞緩和や観光資源を活かした街づくりの取組みとしては、既存道路ネットワークを活用した道路整備や公共交通の利用促進の施策を進めます。</p> <p>また、自転車の利用促進の施策として、第4編第1章において自転車ネットワークの整備を掲げております。</p>	D
3	<p>空き家やアパートの空室が激増しており、今後もこの状況は続く予想されます。この現状は、国の政策に拠るところもありますが、自治体としても①都市計画の大胆な見直し②農地転用の厳格化③空き家、空き地の更新に対するインセンティブの付与④生産緑地制度の活用などできることは実施してほしいです。</p> <p>空き家が増えているのに、新たに宅地が造成され新築住宅やアパートができるのは矛盾しています。すでに住宅は余っているのだから、「新規の宅地造成は認めない」位の思い切った施策を行わないと、高度経済成長期に造成した団地などでは空き家が大幅に増加する恐れがあります。</p> <p>超高齢社会に向けて、コンパクトな街づくりを行い未来世代にツケを回すことの無いようにしてください。</p>	<p>本計画では、人口の減少が予想されるなか「空き家、空き地の増加」は重要課題であると捉え、第1編第3章「現況と都市づくりの課題」に記載するとともに、第2編第1章の「都市づくりの目標」に「都市の資産を上手に再生する」と掲げるなど、都市の資産として空き家や空き地の活用を積極的に取り組む旨を記載しております。</p> <p>宅地の造成については、既存の規制的手法である線引き制度（市街化区域と市街化調整区域の区分）と、新たに策定する立地適正化計画による誘導的な手法を適切に用いながらコンパクトな街づくりを進め都市の空洞化の防止に努めます。</p>	B

番号	意見・提案等の概要	市の考え方	区分
4	<p>計画では、公共交通の利用環境の充実などの観点から、ミニバスターミナルやパーク・アンド・バスライド用駐車場等の整備の必要性について記載されています。更北地域を走る主要地方道長野・真田線を利用するバス等の利用状況は非常に多い状況であり、渋滞緩和に加え利便性、安全性等の向上のためにも早期実現を強く希望します。</p>	<p>地域街づくり構想に整備の方針として、交通渋滞の緩和や公共交通の利用促進のため、幹線道路沿いのパーク・アンド・バスライド用の駐車場の整備を掲げております。</p> <p>事業化にあたっては、実施主体や実施手法などとともに必要な経費や得られる効果など効率的なまちづくりを図るために総合的な検討を進めます。</p>	B
5	<p>八幡原史跡公園は、「川中島の戦い」の場として知名度も高く、長野ICの近くに立地するなど好条件を有しています。長野市立博物館にも隣接しており、相乗効果のある整備を強く希望します。</p>	<p>地域街づくり構想に整備の方針として、八幡原史跡公園は、レクリエーション、観光や地域振興の面から広域的な交流を促進するための再整備の位置付けをしています。</p> <p>事業化にあたっては、効率的なまちづくりを図るため、必要な経費や得られる効果など総合的な検討を進めます。</p>	B
6	<p>真島地区の活性化や人口増加を目的として、農的な土地利用のエリアを商業地域に指定し、さらに大規模な工業団地の造成や住宅団地の造成などを希望します。また、それら新たな土地利用に必要な、道路や橋などの都市基盤の整備を希望します。</p>	<p>真島地区の多くは、市街化調整区域に指定されており、都市全体の健全な発展と計画的な街づくりを図るため、市街化を抑制し、農地等を保全する区域に位置付けられています。</p> <p>人口増加が見込まれた高度成長期には、新たな住宅需要に対応するため、市街地を拡大してきました。しかし、都市全体の人口が減少し、既存市街地においても人口が減少するなか、新たな市街地の拡大は、都市全体の活力の低下を招く恐れがあることから困難と考えております。</p> <p>今後は、市街化調整区域では、地域の生活が守られ、地域に住み続けられるよう地域コミュニティの維持を目指す街づくりを目標としています。</p>	D

番号	意見・提案等の概要	市の考え方	区分
7	<p>篠ノ井駅東口周辺には暮らしに必要な施設が集積していますが、商店街の賑わいが失われつつあります。一方で当該エリアでは、公共施設のリニューアルや道路整備などの計画が進み、人の流れが戻ることが期待されています。</p> <p>南部図書館の建替え場所の選定にあたっては、現施設が現地に建設された歴史的背景や、施設の集積状況などを勘案して駅東口にしてほしいです。</p> <p>施設の計画は、図書機能だけでなく市民が集い交流できる複合施設となるよう、専門家の協力を得ながら市民参加によるプロセスにより策定することを望みます。</p>	<p>篠ノ井駅周辺は、市南部の地域拠点として、広域的な交流の促進や生活文化機能の集約により、都市機能を向上させる街づくりが必要と考えております。</p> <p>なお、南部図書館の建設地や整備手法についてのご意見であるので、関係課に伝えます。</p>	E